

令和5年度  
橋本市まちづくりのためのアンケート  
調査報告書



橋本市マスコットキャラクター  
はしぼう

令和6年2月

橋本市 総合政策部 政策企画課

# 目 次

## I 調査の目的 . . . 2

### 調査の概要

- (1) 調査項目
- (2) 調査設計
- (3) 回収結果

## II アンケート結果 . . . 4

ア ご自身のことについて

イ 橋本市に対する想いについて

ウ 情報発信について

エ 橋本市の取組みについて、満足度・重要度【9政策37項目】

オ 手続きのオンライン化について

カ 協働のまちづくりについて

キ 公共交通について

ク 防災について

ケ 日常生活について

コ 遠隔窓口について

サ 人権について

シ 橋本市のまちづくりについて

## I 調査の目的

本調査は、人口減少や少子高齢化が進んでいる中で、市が取り組んでいる施策に対する満足度・重要度の調査を行い、市民の皆様ニーズを把握し、その結果をこれからの市政運営に反映させていくことを目的とする。

### ●調査の概要

#### (1) 調査項目

- ア ご自身のことについて
- イ 橋本市に対する想いについて
- ウ 情報発信について
- エ 橋本市の取組みについて、満足度・重要度【9政策37項目】

#### 【ともに創る】

政策1 賑わいと活力を創出する地域産業づくり

- ①商工業・地場産業 ②農林業の振興 ③観光事業

政策2 雇用の創出と就労環境づくり

- ①雇用、就労、労働環境の整備 ②企業誘致の促進

政策3 充実した情報整備と魅力的なまちづくり

- ①移住定住の促進 ②市民に身近でわかりやすい広報

#### 【ともに守る】

政策4 安全安心な暮らしと、生活の利便性を支える都市基盤づくり

- ①危機管理・災害対策事業 ②消防・救急 ③交通安全・防犯
- ④消費者普及啓発、トラブル相談体制 ⑤地域公共交通
- ⑥計画的な土地利用、景観の保全 ⑦道路の計画的な点検・修繕
- ⑧上下水道の整備

政策5 豊かな自然と暮らしが調和する生活環境づくり

- ①自然環境保護の取組 ②ごみの減量・リサイクルの取組
- ③生活環境汚染対策の推進 ④住環境（耐震化促進、空家対策）
- ⑤公園・緑地の維持管理

政策6 住み慣れた地域で安心して暮らせる持続可能な仕組みづくり

- ①健康づくり支援と医療体制 ②社会保障制度の適正な運用
- ③地域における支え合いの仕組み ④高齢者にとっての暮らしやすさ

⑤障がい者にとっての暮らしやすさ

【ともに育てる】

政策7 一人ひとりの個性が尊重され思いやりのあるまちづくり

①人権尊重と平和学習の推進 ②男女共同参画の推進

政策8 妊娠・出産、子育てから教育まで切れ目のない支援とそれを支える地域づくり

①妊娠・出産・育児環境 ②子ども家庭支援

③地域・家庭・学校・行政の連携 ④安全・安心な学校教育環境

政策9 生涯にわたる生きがいづくりと心の豊かさを高めるまちづくり

①生涯学習の推進 ②スポーツ施設、活動の振興

③歴史文化遺産の保全と活用 ④文化芸術活動、国際交流の推進

⑤青少年健全育成 ⑥地域コミュニティ・協働のまちづくり推進

オ 手続きのオンライン化について

カ 協働のまちづくりについて

キ 公共交通について

ク 防災について

ケ 日常生活について

コ 遠隔窓口について

サ 人権について

シ 橋本市のまちづくりについて

## (2) 調査設計

ア 調査地域 橋本市全域

イ 調査対象 橋本市在住の18歳以上の方

ウ 対象者数 2,000人

エ 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出

オ 調査方法 郵送による配布・回収（一部Web上での回答）

カ 調査期間 令和5年9月8日（金）から令和5年9月30日（土）

## (3) 回収結果

ア 有効回収数 572件（郵送：431件、Web：141件）

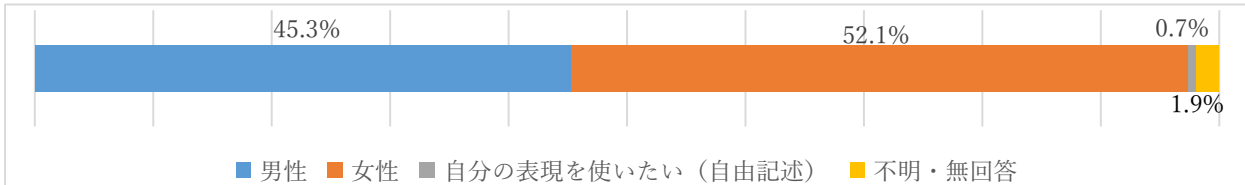
イ 回収率 28.6%

## Ⅱ アンケート結果

### ア ご自身のことについて

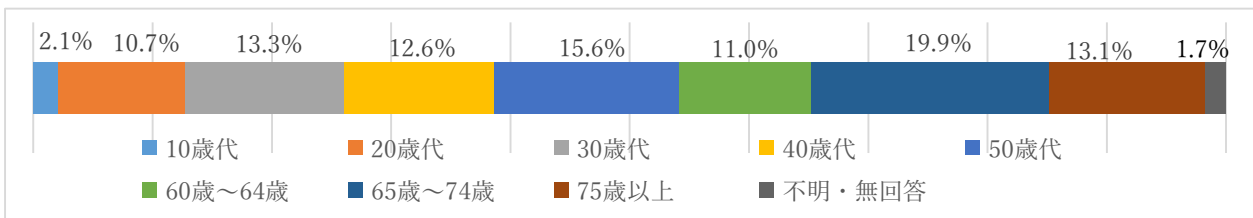
問1 あなたの性別を教えてください。

男性が45.3%、女性が52.1%、その他の表現の方が0.7%となっています。



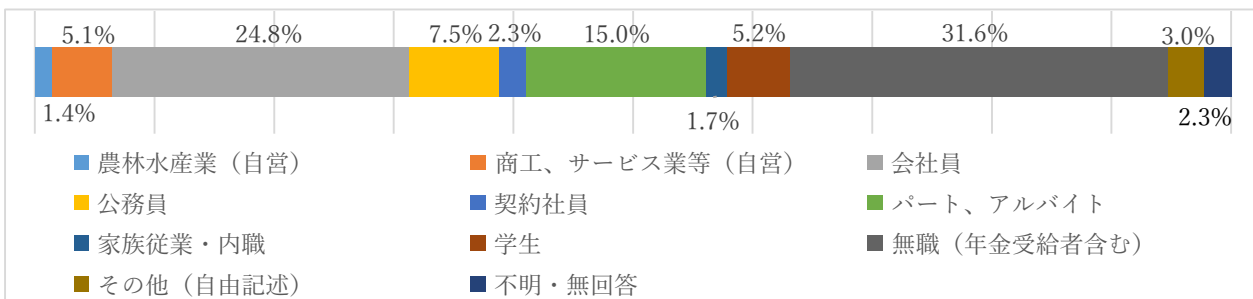
問2 あなたの年齢を教えてください。

65歳から74歳が最も多く19.9%、次いで50歳代が15.6%となっています。



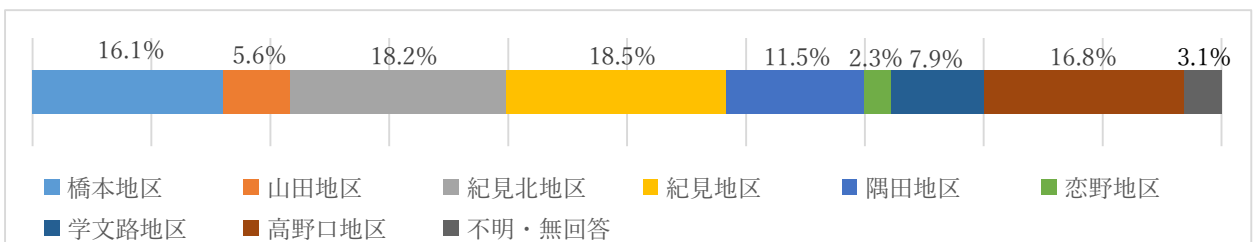
問3 あなたの職業を教えてください。

無職（年金受給者含む）が最も多く31.6%、次いで会社員が24.8%となっています。



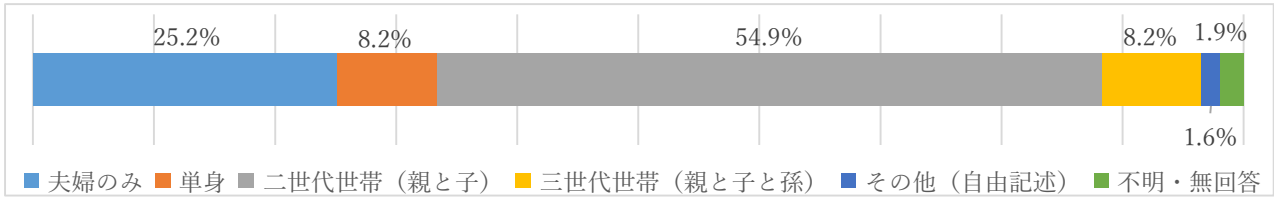
問4 あなたのお住まいの地区（公民館区分）について教えてください。

紀見地区が18.5%と最も多く、次いで紀見北地区が18.2%となっています。



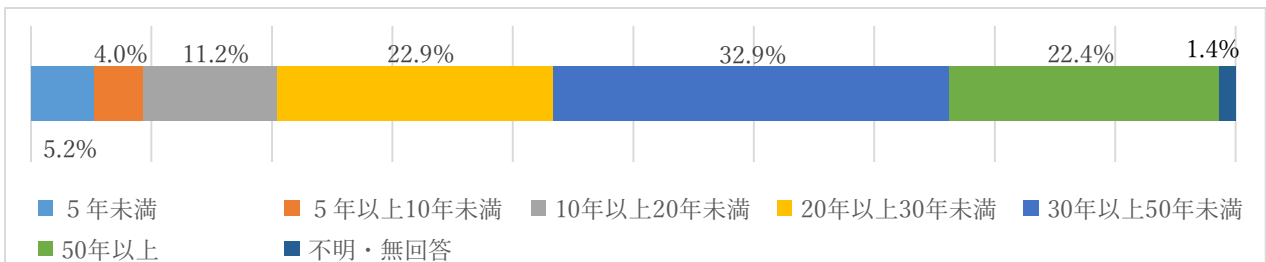
問5 あなたの家族構成について教えてください。

二世帯世帯が54.9%と最も多く、次いで夫婦のみの25.2%となっています。



問6 あなたが橋本市にお住まいになって通算で何年になりますか。

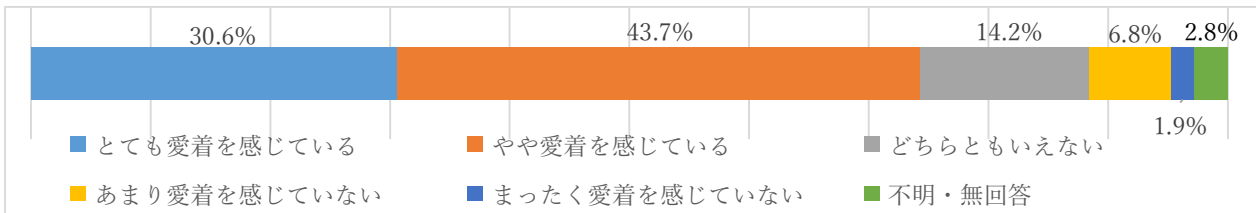
30年以上50年未満が最も多く32.9%、次いで20年以上30年未満が22.9%となっています。



イ 橋本市に対する想いについて

問7 橋本市やお住まいの地域に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

「とても愛着を感じている」と「やや愛着を感じている」の合計が74.3%、「あまり愛着を感じていない」と「まったく愛着を感じていない」の合計は9.6%となっています。



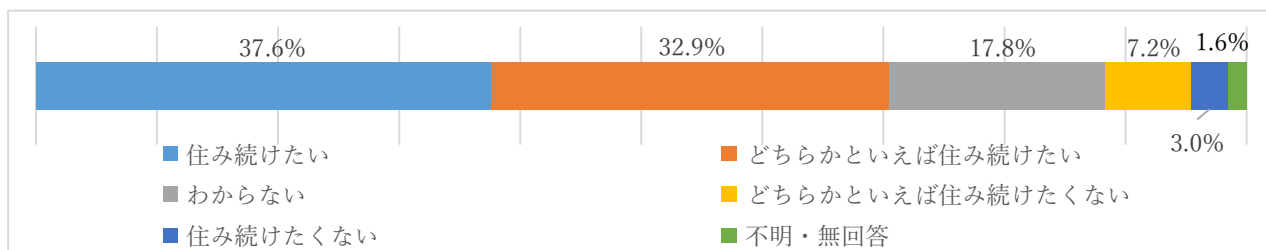
問8 橋本市やお住まいの地域の住み心地はいかがですか。

「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」の合計が70.5%、「どちらかというと住みにくい」と「大変住みにくい」の合計が10.8%となっています。



問9 今後も橋本市に住み続けたいと思いますか。

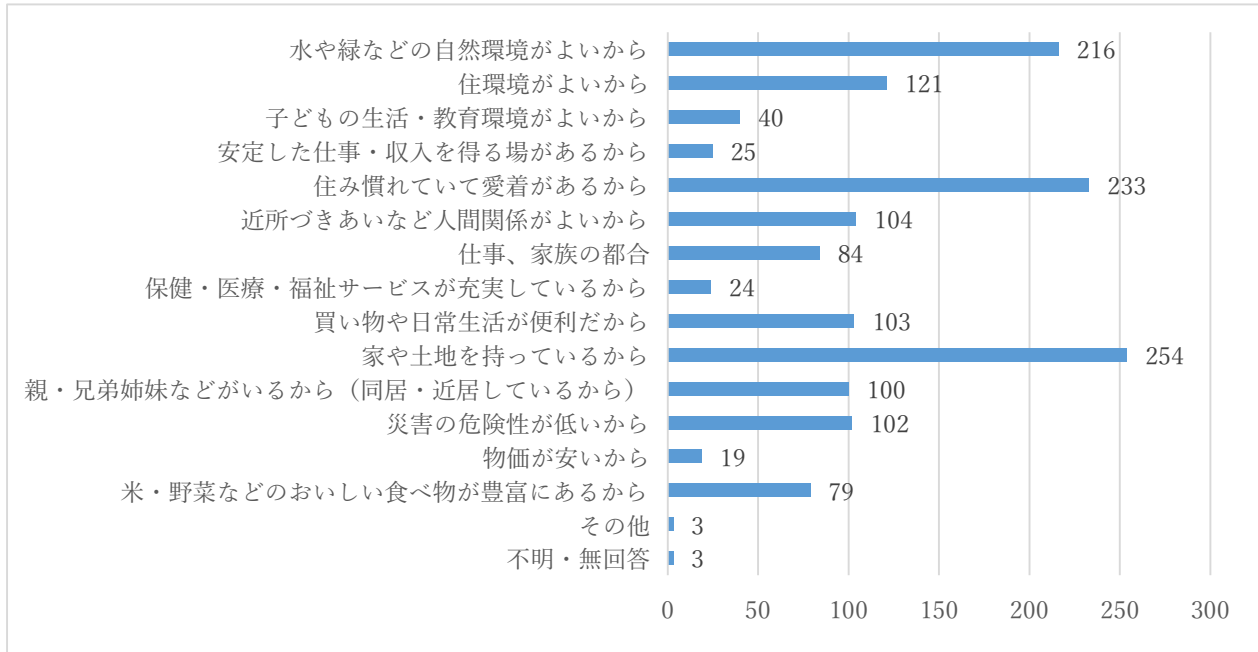
「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計が70.5%、「どちらかといえば住み続けたくない」と「住み続けたくない」の合計が10.2%となっています。



問10 住み続けたいと思う理由を教えてください。(複数回答)

(問9で「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を選んだ方が対象)

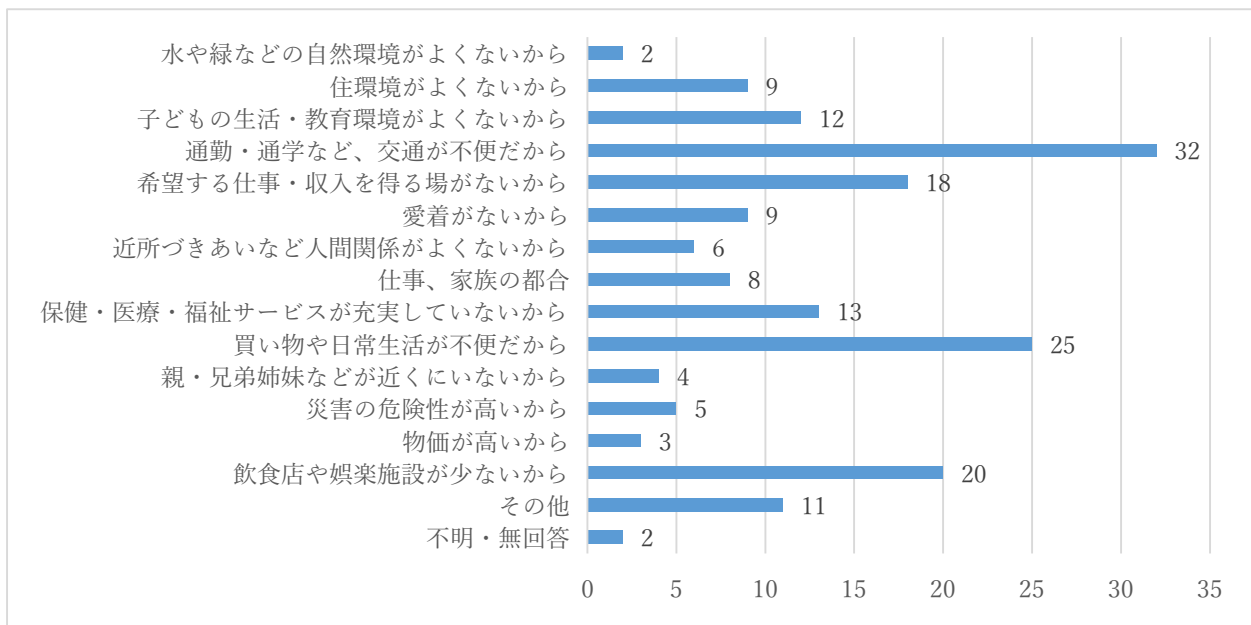
「家や土地を持っているから」が最も多く、次いで「住み慣れていて愛着があるから」が多い結果となりました。



問11 住み続けたくないと思う理由を教えてください。(複数回答)

(問9で「どちらかといえば住み続けたくない」と「住み続けたくない」を選んだ方が対象)

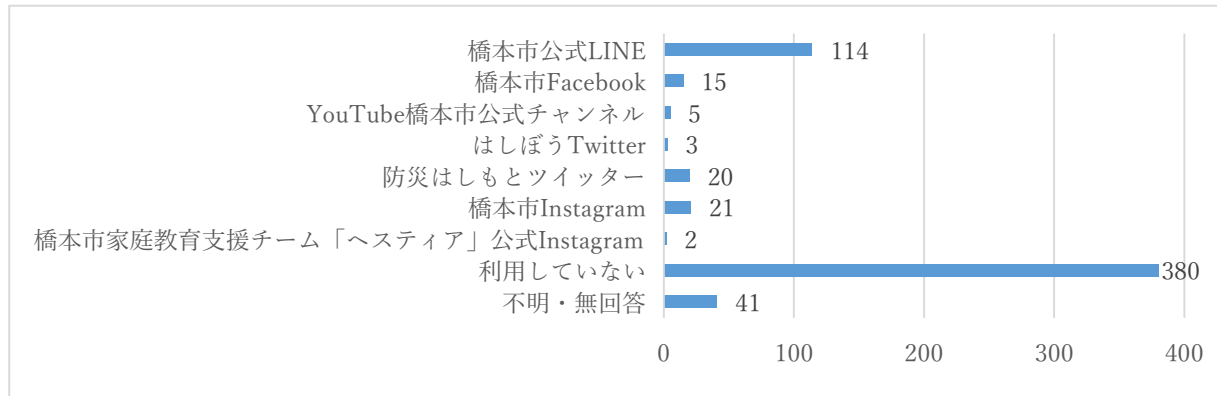
「通勤・通学など、交通の便が不便だから」が最も多く、次いで「買い物や日常生活が不便だから」が多い結果となりました。





## ウ 情報発信について

問12 橋本市では、広報紙やホームページでの情報発信のほか、SNSを活用して情報発信に努めています。普段からよく利用している橋本市のSNSは何ですか。（複数回答）  
「利用していない」が最も多く、次いで「橋本市公式LINE」が多い結果となりました。



## エ 橋本市の取組みについて、満足度・重要度【9政策37項目】

問13 橋本市が行っている政策についてどの程度満足されていますか。また、どの程度重要だと思われますか。

- ・満足度について、「満足」「やや満足」「あまり満足ではない」「満足でない」「わからない」の5段階で回答をしていただいたところ、それぞれの上位5項目は次の通りとなりました。

【満足度の高い項目】「満足」「やや満足」を選択した割合

「消防・救急」	・・・	50.5%
「市民に身近でわかりやすい広報」	・・・	46.2%
「健康づくり支援と医療体制」	・・・	45.5%
「交通安全・防犯」	・・・	44.1%
「ごみの減量・リサイクルの取組」	・・・	43.2%

最も割合の多かった項目は「消防・救急」の50.5%で、最も割合の少なかった項目は「雇用、就労、労働環境の整備」の12.8%となっています。

【満足度の低い項目】「あまり満足でない」「満足でない」を選択した割合

「地域公共交通」	・・・	58.9%
「道路の計画的な点検・修繕」	・・・	55.1%
「雇用、就労、労働環境の整備」	・・・	52.3%
「観光」	・・・	50.0%
「移住定住の促進」	・・・	46.5%

最も割合が多かった項目は「地域公共交通」の58.9%で、最も割合の少なかった項目は「消防・救急」の18.4%となっています。

- 重要度について、「重要」「やや重要」「あまり重要ではない」「重要でない」「わからない」の5段階で回答をしていただいたところ、それぞれの上位5項目は次の通りとなりました。

【重要度の高い項目】「重要」「やや重要」と回答した割合

「消防・救急」	・・・	81.3%
「道路の計画的な点検・修繕」	・・・	81.3%
「危機管理・災害対策事業」	・・・	80.2%
「健康づくり支援と医療体制」	・・・	79.2%
「地域公共交通」	・・・	77.3%

最も割合が多かった項目は「消防・救急」「道路の計画的な点検・修繕」の81.3%で、最も割合の少なかった項目は「文化芸術活動、国際交流の推進」の47.7%となっています。

【重要度の低い項目】「あまり重要でない」「重要でない」と回答した割合

「文化芸術活動、国際交流の推進」	・・・	21.9%
「歴史文化遺産の保全と活用」	・・・	17.7%
「地域コミュニティ・協働のまちづくり推進」	・・・	16.1%
「生涯学習の推進」	・・・	14.9%
「スポーツ施設、活動の振興」	・・・	14.7%

最も割合が多かった項目は「文化芸術活動、国際交流の推進」の21.9%で、最も割合の少なかった項目は「雇用、就労、労働環境の整備」の1.9%となっています。

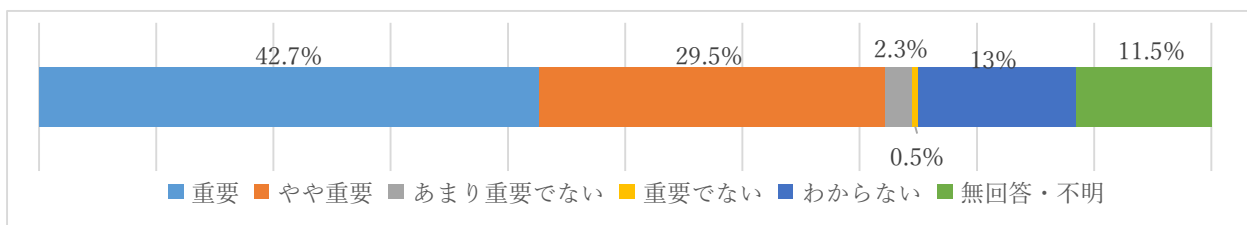
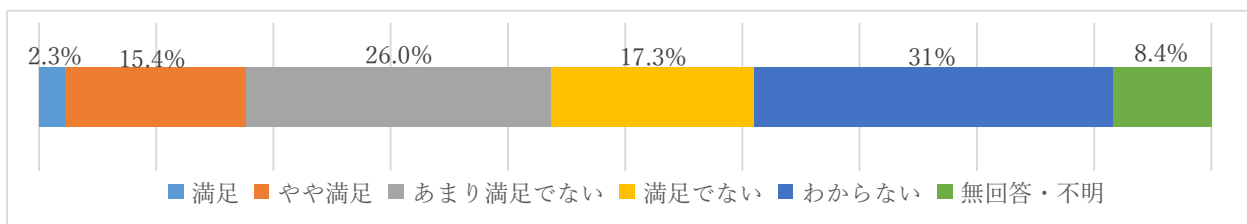
各施策の満足度、重要度は以下のとおりです。

【ともに創る】

政策1 賑わいと活力を創出する地域産業づくり

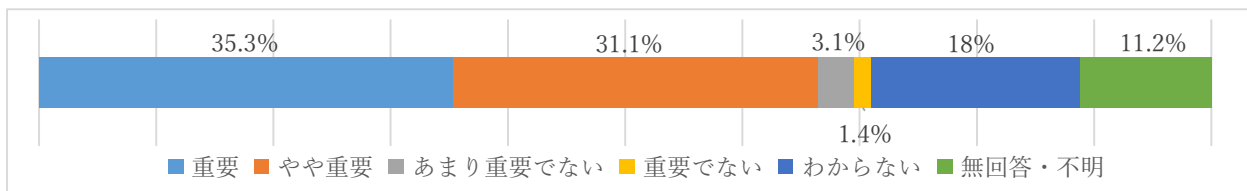
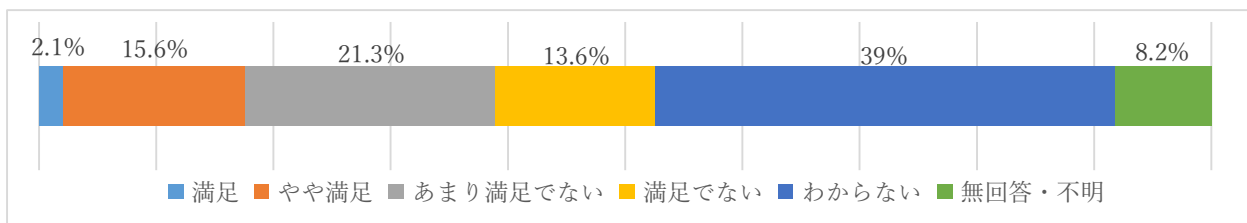
①商工業・地場産業

取組：空き店舗の利活用 地場産業のPR活動 中小企業への経営指導  
後継者育成や起業への支援 新商品の開発支援 等



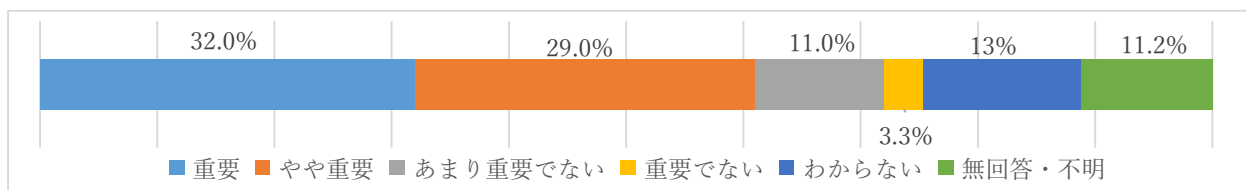
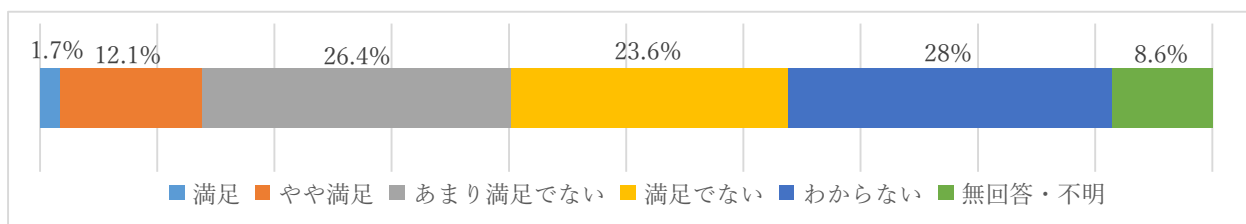
②農林業の振興

取組：担い手確保への支援 新規農産物の産地化 森林や林道の維持管理  
森林環境の保全 等



### ③観光事業

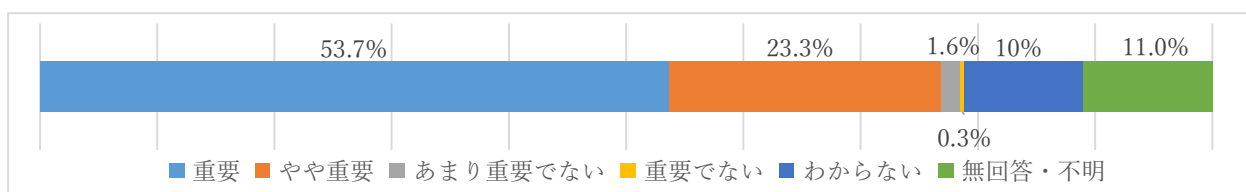
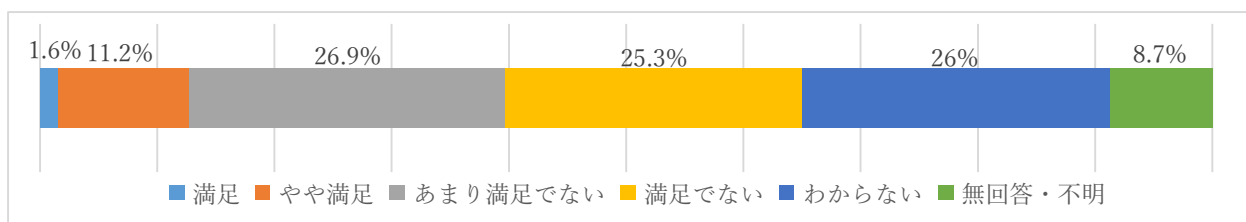
取組：体験観光や周遊観光の推進 外国人誘客と受け入れ環境の整備 市の魅力発信 等



## 政策 2 雇用の創出と就労環境づくり

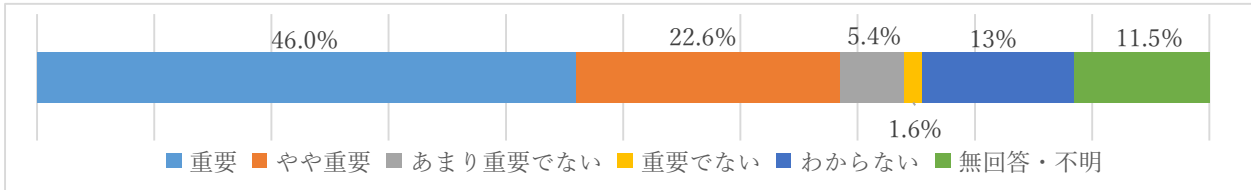
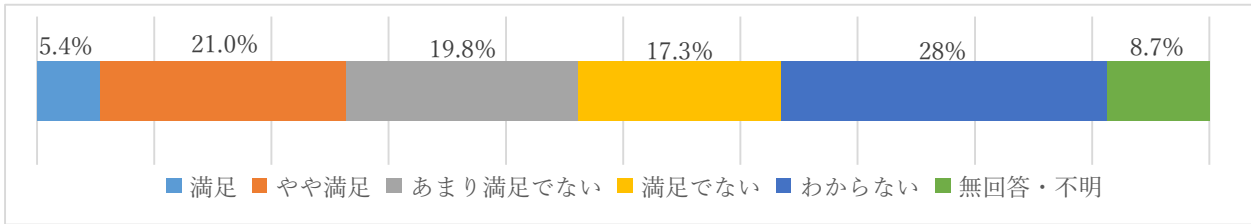
### ①雇用、就労、労働環境の整備

取組：雇用の場の創出・確保 就労環境の改善のための、各種制度の周知・啓発  
創業・起業への支援 年齢や適性・能力に応じた就業機会の提供 等



②企業誘致の促進

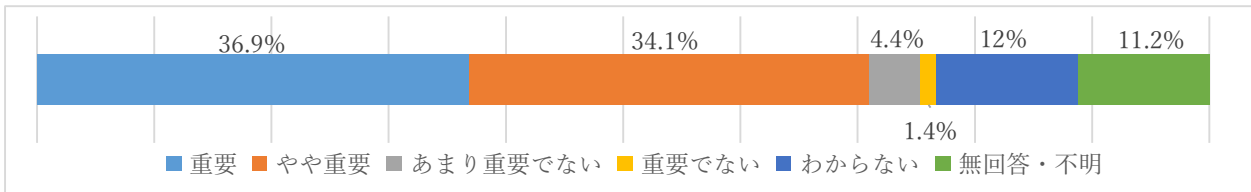
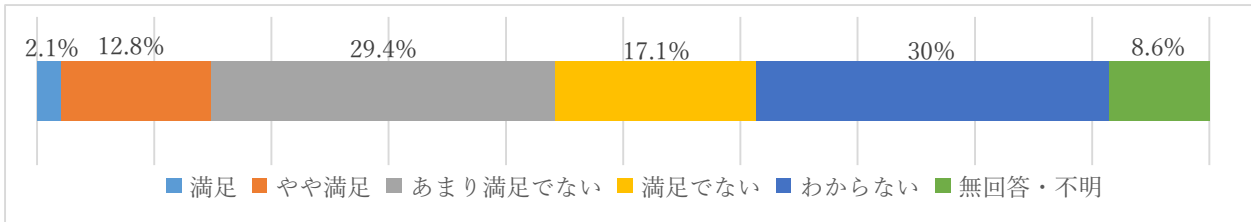
取組：未利用地の企業用地としての誘導 | T関連企業や宿泊業等の誘致活動促進 等



政策3 充実した情報整備と魅力的なまちづくり

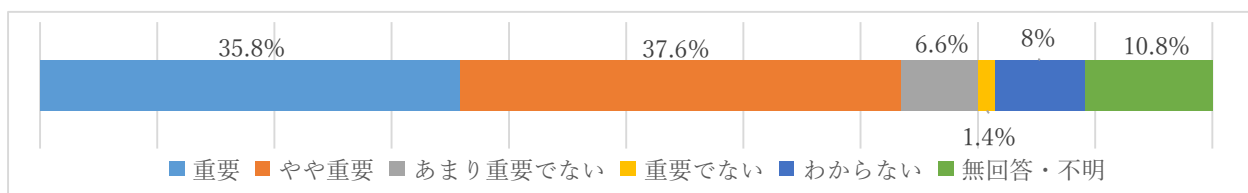
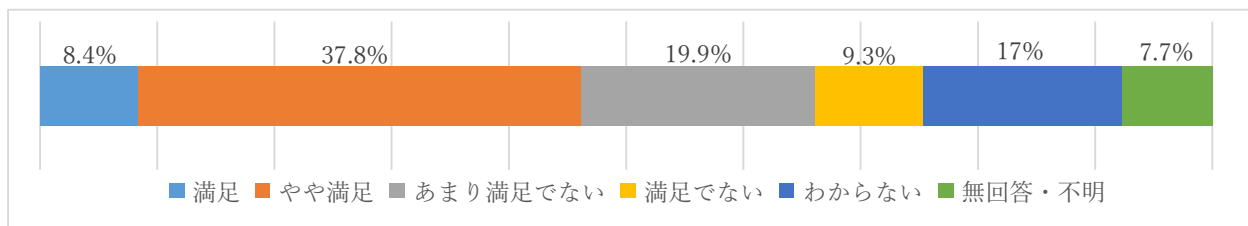
①移住定住の促進

取組：「橋本」らしさの戦略的な情報発信の推進、住宅支援や空き家の利活用など移住定住の促進 等



②市民に身近でわかりやすい広報

取組：広報紙、ホームページ、SNS など多様な媒体を使った、  
わかりやすい広報活動の充実、出前講座など市民からの意見聴取機会の充実 等

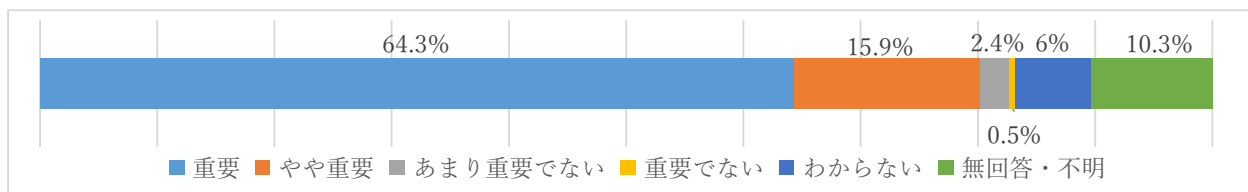
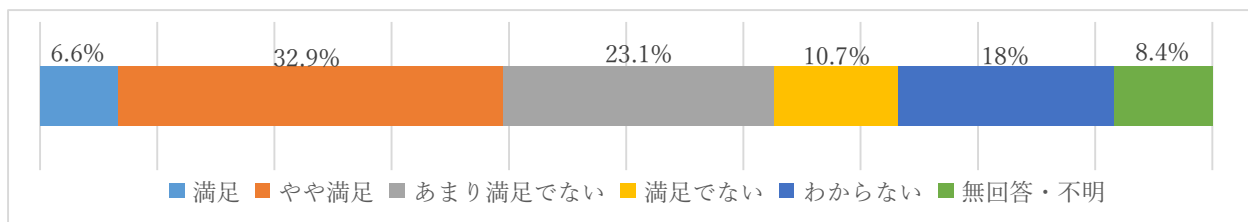


【ともに守る】

政策4 安全安心な暮らしと、生活の利便性を支える都市基盤づくり

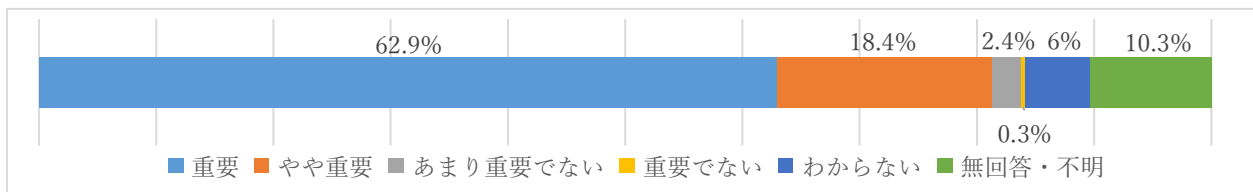
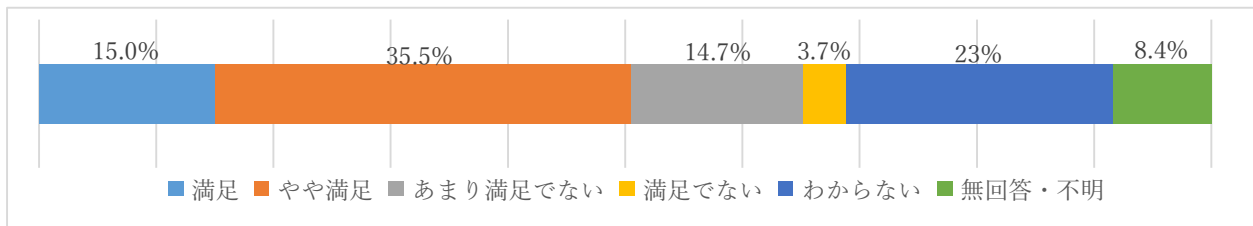
①危機管理・災害対策事業

取組：自主防災組織の育成と強化、風水害・土砂災害・地震等に対する備え、防災訓練の実施  
や救助・避難方法の確認など予防体制の整備 等



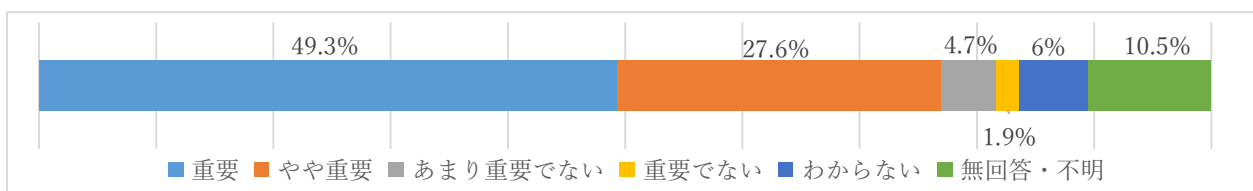
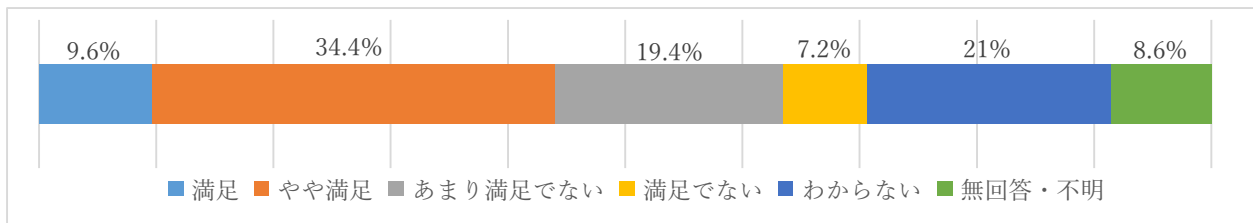
## ②消防・救急

取組：消防設備の計画的な更新整備、消防団活動への支援、救急救助体制の充実、  
消防用設備の点検、防火意識の向上 等



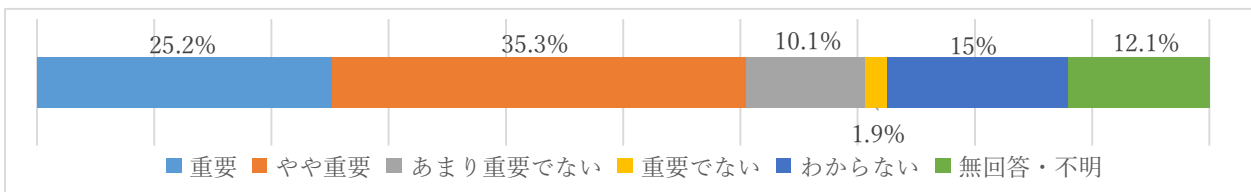
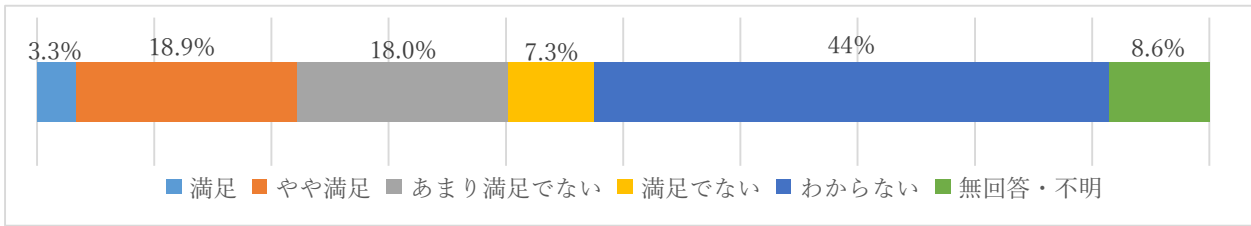
## ③交通安全・防犯

取組：交通安全運動の推進、街頭指導など交通安全の啓発、地域防犯活動への支援、  
イベント等での啓発活動の実施 等



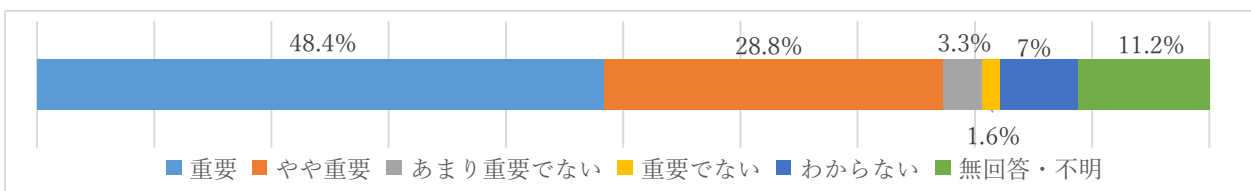
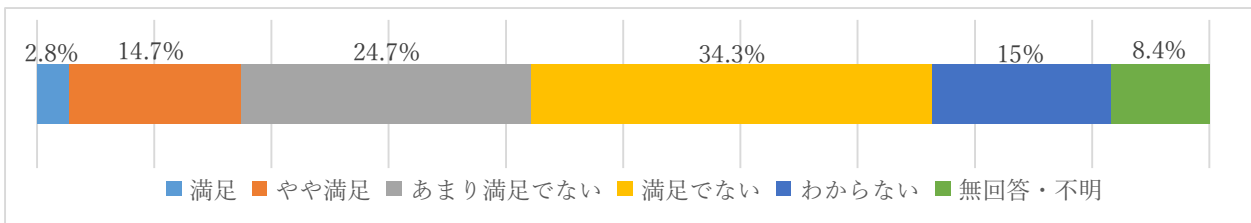
#### ④消費者普及啓発、トラブル相談体制

取組：消費者問題の情報収集および情報発信、出前講座の実施、  
消費生活相談窓口の資質向上 等



#### ⑤地域公共交通

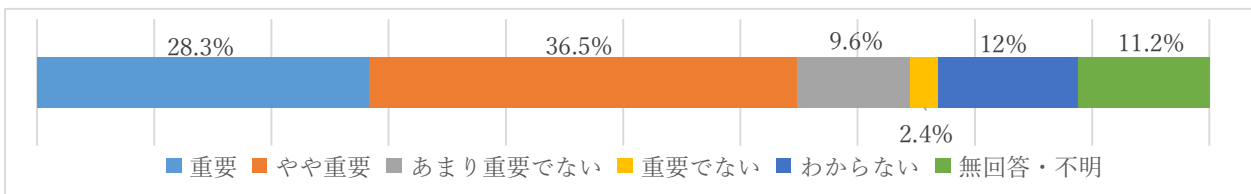
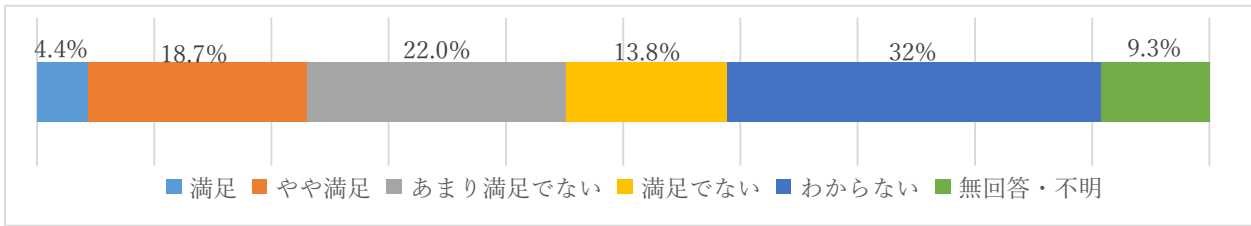
取組：コミュニティバスの利便性向上、鉄道・路線バスの乗り継ぎ拠点整備、  
利用しやすい公共交通環境づくり 等





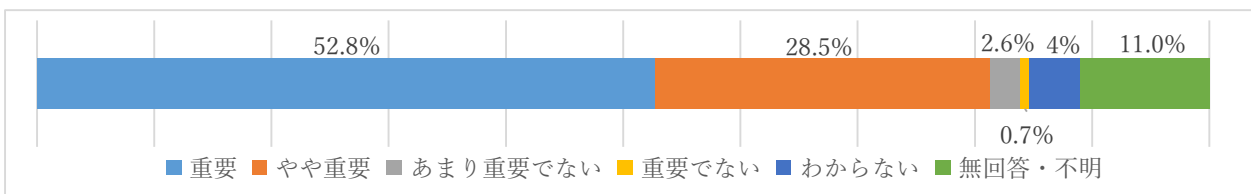
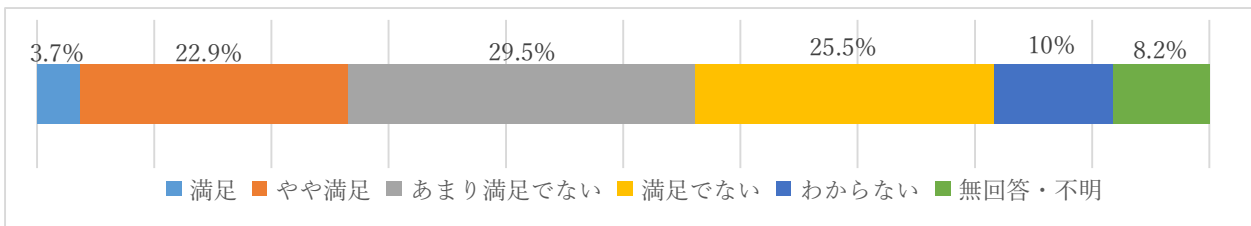
⑥計画的な土地利用、景観の保全

取組：広告物の規制・誘導や違反広告物の撤去 市街地や田園、緑の景観の保全  
地籍調査の推進 等



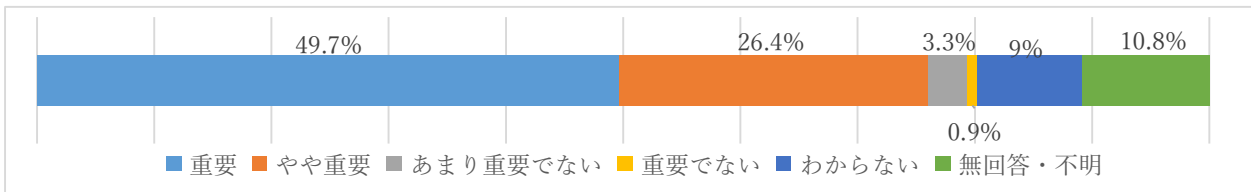
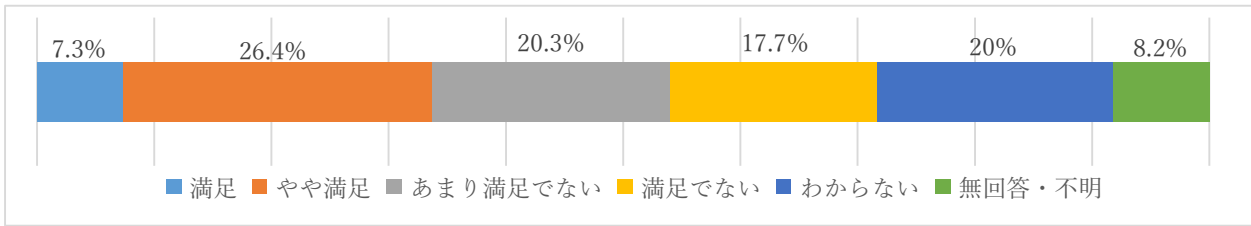
⑦道路の計画的な点検・修繕

取組：新紀見トンネルの早期開通、計画的な道路整備、舗装修繕や防護柵と設置、  
歩道や自転車道の整備 等



⑧上下水道の整備

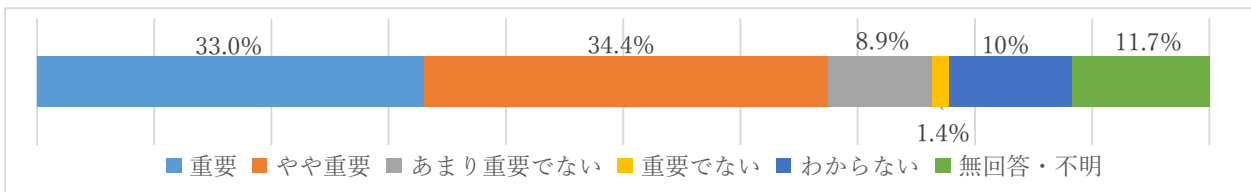
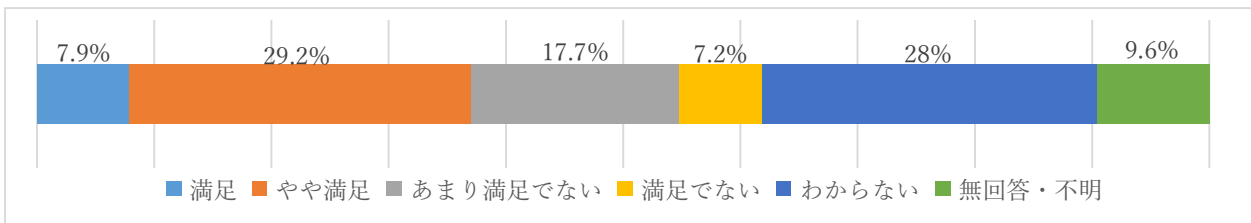
取組：施設規模の最適化及び耐震化の実施、公共下水道への早期接続促進、  
上・下水道事業の適切な維持管理 等



政策5 豊かな自然と暮らしが調和する生活環境づくり

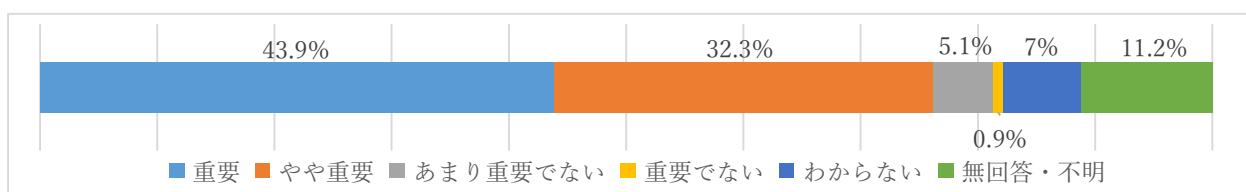
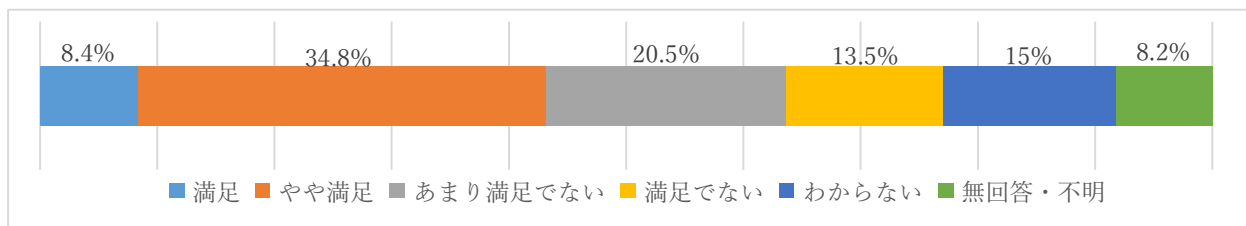
①自然環境保護の取組

取組：良好な自然環境の保全、環境学習や自然体験学習の推進、  
動植物の生息・生育環境の保全、自然公園の保全 等



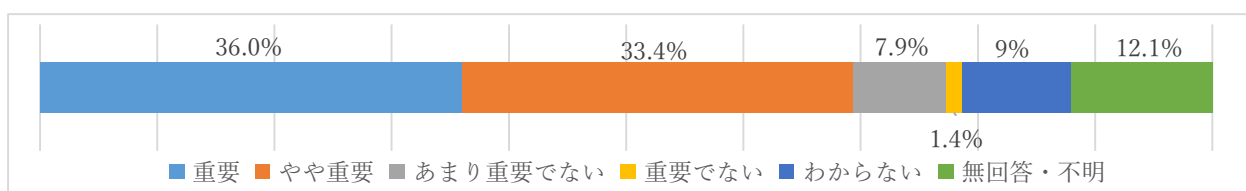
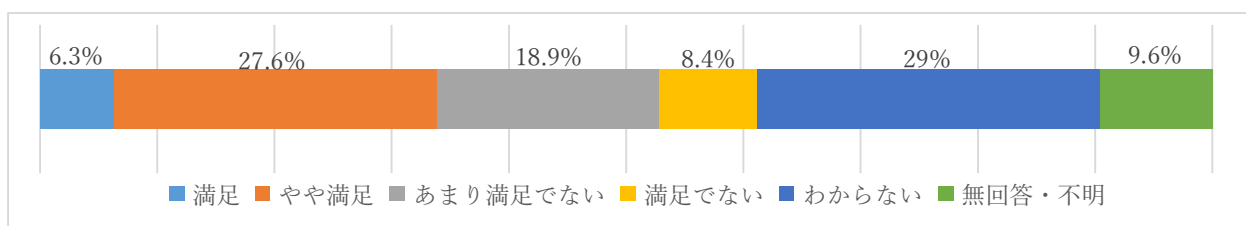
## ②ごみの減量・リサイクルの取組

取組：効率的で環境負担の少ないごみ収集体制、ごみ減量化と資源リサイクルの推進、高齢者などのごみ出し困難者への支援 等



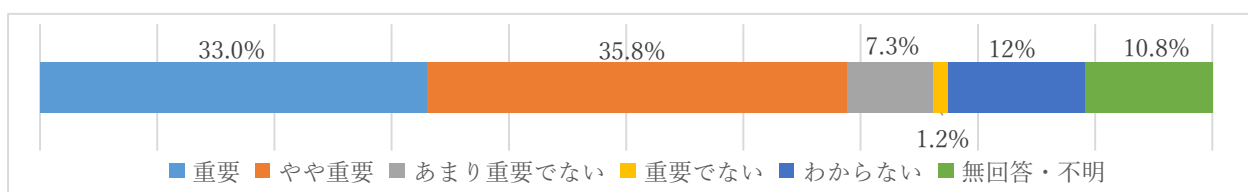
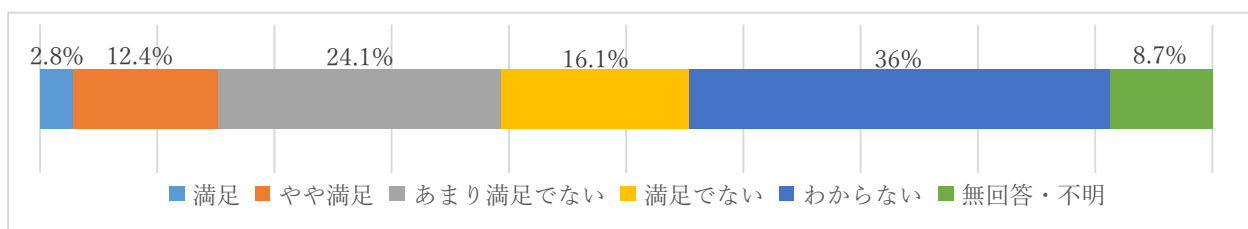
## ③生活環境汚染対策の推進

取組：騒音・振動・悪臭等への対策、生活排水・し尿・衛生対策等の充実、パトロールによる不法投棄の防止 等



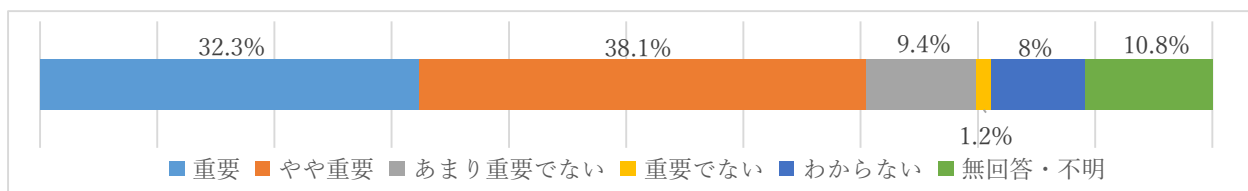
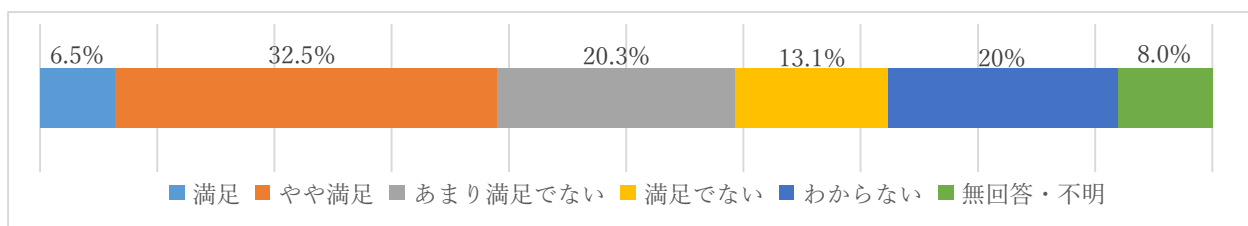
④住環境（耐震化促進、空家対策）

取組：市営住宅など公的賃貸住宅環境の整備、住宅耐震化のサポート、  
空き家所有者への指導・勧告 等



⑤公園・緑地の維持管理

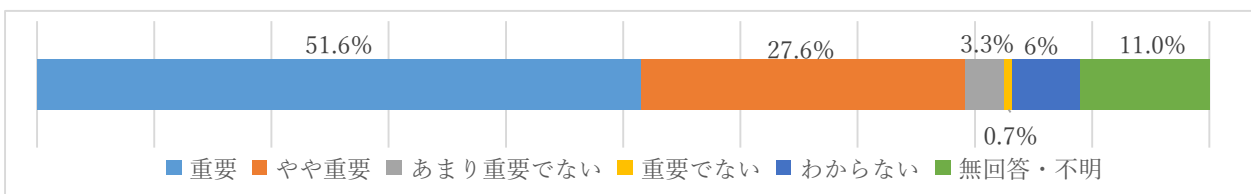
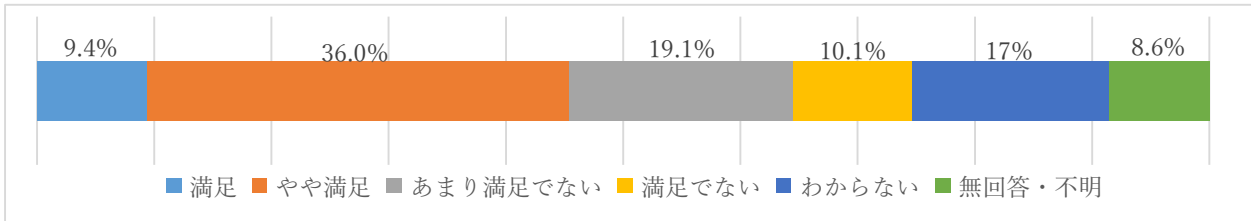
取組：公園の維持補修（遊具などの更新）、水と緑のネットワークの形成・維持 等



## 政策6 住み慣れた地域で安心して暮らせる持続可能な仕組みづくり

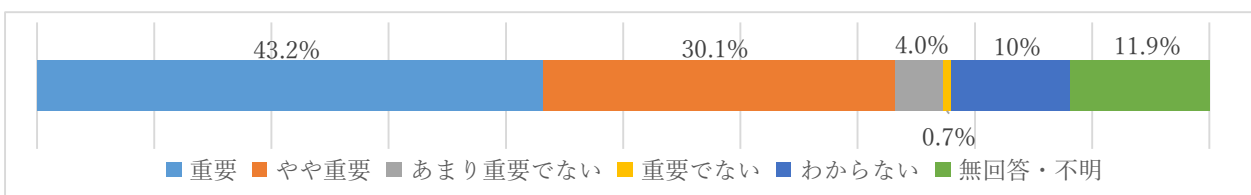
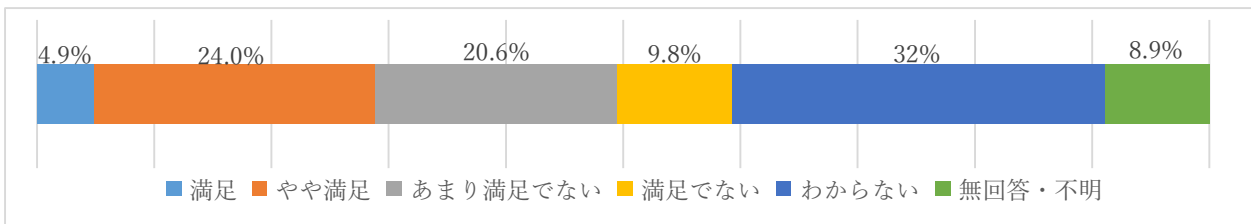
### ①健康づくり支援と医療体制

取組：健康づくりの支援体制の充実、がんや生活習慣病等の早期発見・早期治療の促進、不妊治療費助成や予防接種事業など母子保健の充実、緊急時の救急医療体制の充実 等



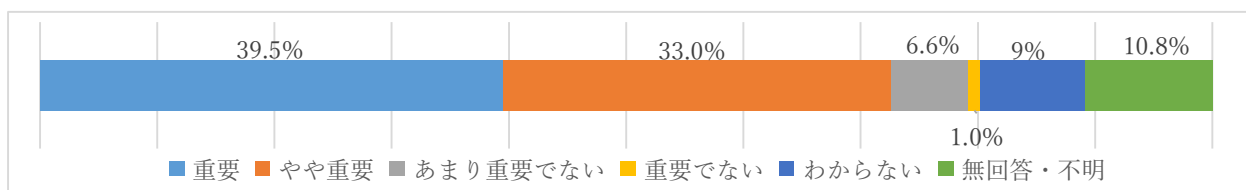
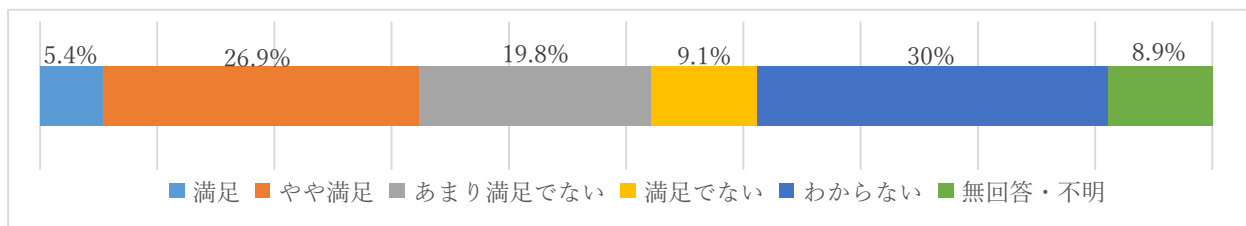
### ②社会保障制度の適正な運用

取組：国民健康保険制度や国民年金制度等の周知啓発と適正な運用、介護保険制度の適正な運用、就労支援など生活困窮者の自立の促進 等



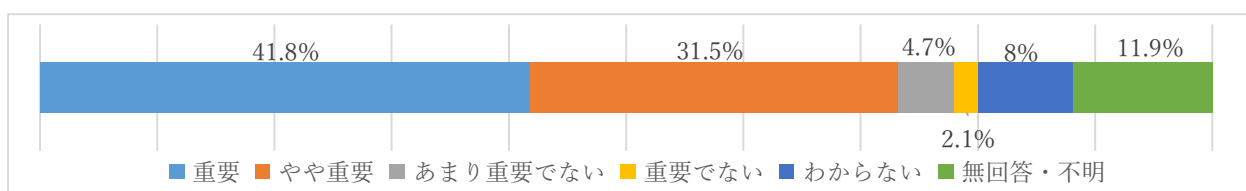
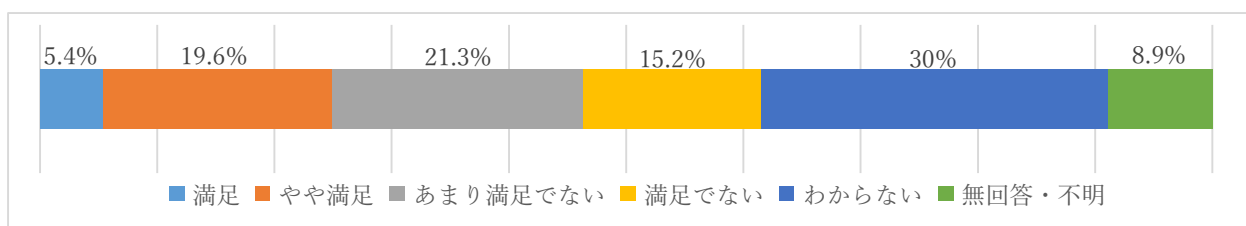
### ③地域における支え合いの仕組み

取組：高齢者・子育て世帯への見守り活動支援、地域福祉団体等への支援と連携、  
高齢者や障がい者・子どもの権利擁護 等



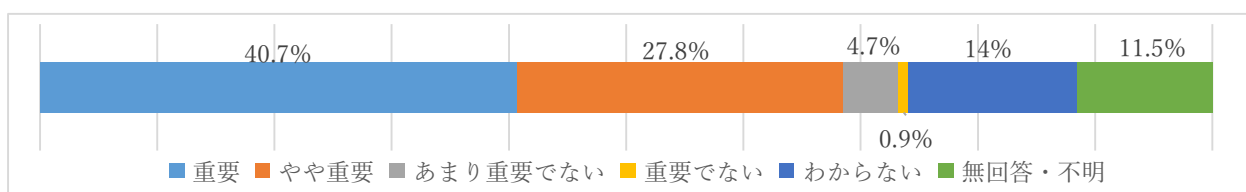
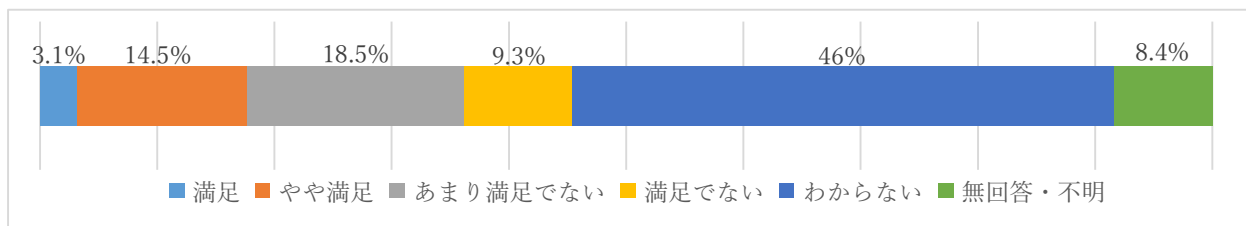
### ④高齢者にとっての暮らしやすさ

取組：買い物や外出支援など生活支援体制の整備、  
ふれあいサロン・老人クラブなど地域住民主体の取組みの推進 等



### ⑤障がい者にとっての暮らしやすさ

取組：障がい福祉サービスや成年後見制度の利用促進、地域での生活支援の充実、障がいに関する正しい理解の周知啓発活動

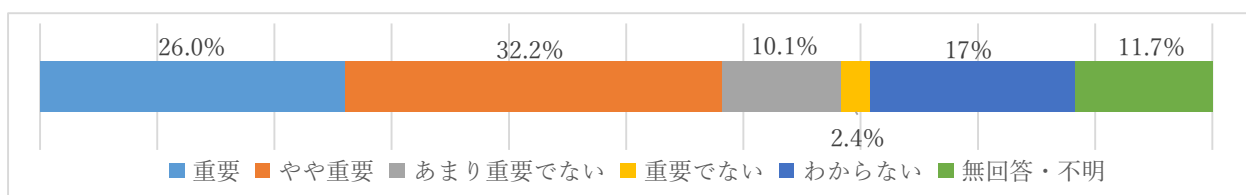
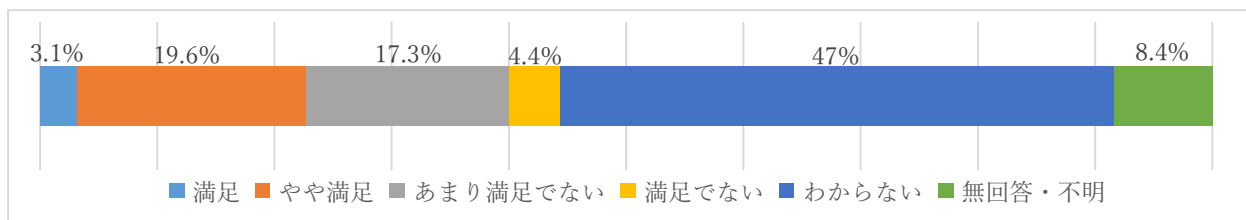


### 【ともに育てる】

政策7 一人ひとりの個性が尊重され思いやりのあるまちづくり

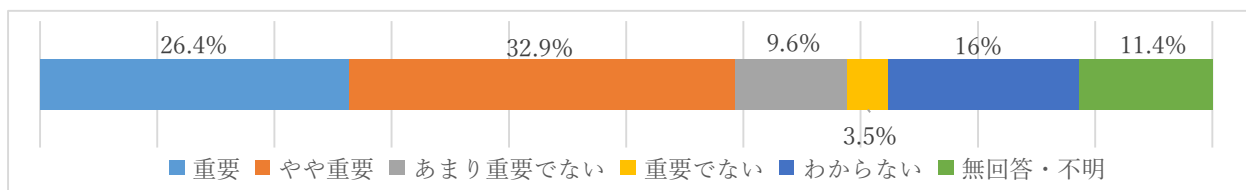
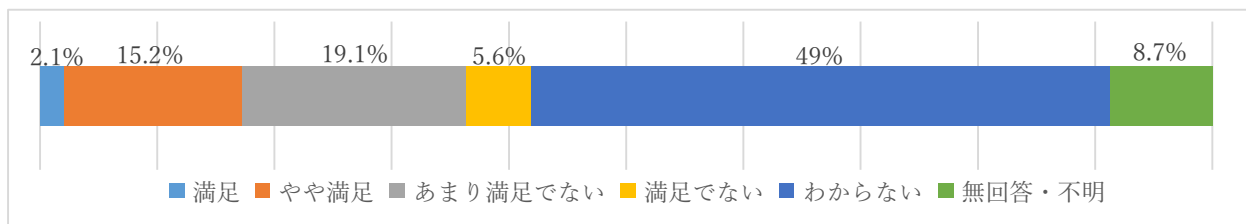
#### ①人権尊重と平和学習の推進

取組：人権侵害の予防と早期発見、相談・支援活動の充実、人権教育と平和学習活動の推進、充実した研修による職員の意識・実践力の向上 等



## ②男女共同参画の推進

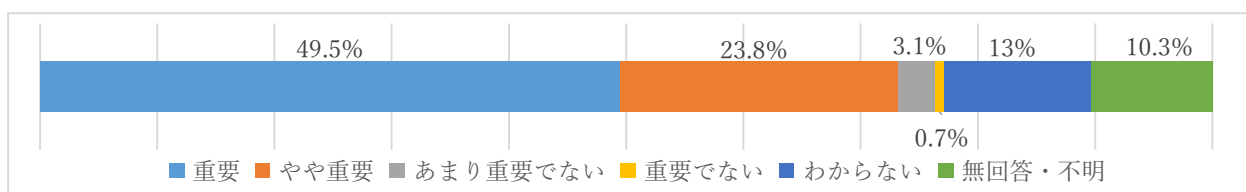
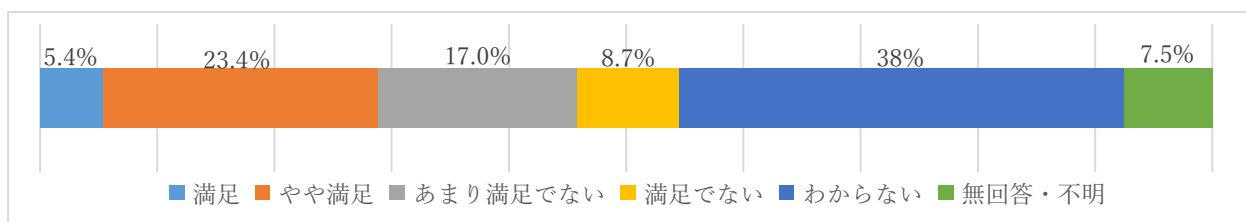
取組：ワーク・ライフ・バランス推進、DV被害者の早期発見・安全確保に向けた支援 等



## 政策8 妊娠・出産、子育てから教育まで切れ目のない支援とそれを支える地域づくり

### ①妊娠・出産・育児環境

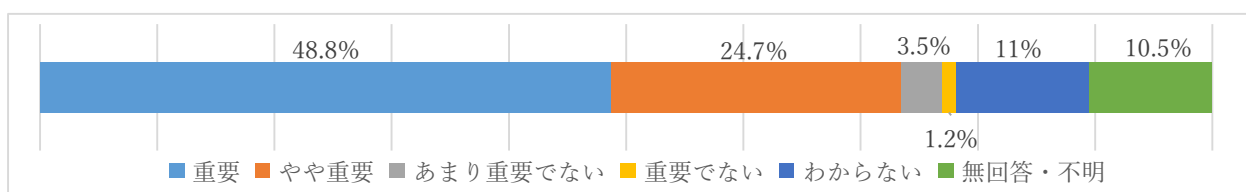
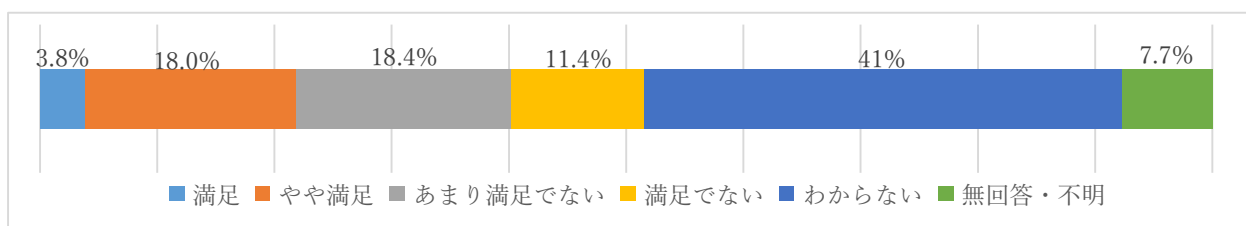
取組：産前産後から子育てに関する相談支援など子育て支援サービスの充実、子育て支援センターや認定こども園など保育サービスの充実 等





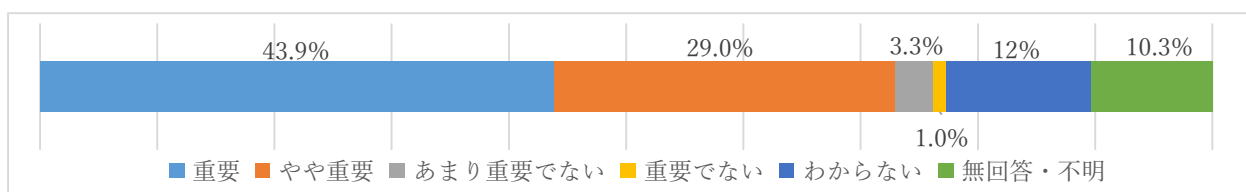
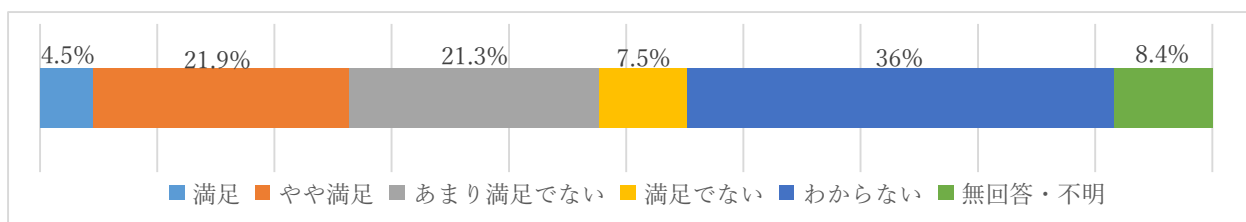
## ②子ども家庭支援

取組：悩みを抱える子育て家庭の総合的な支援、  
手当や助成制度による子育て家庭の経済的負担の軽減 等



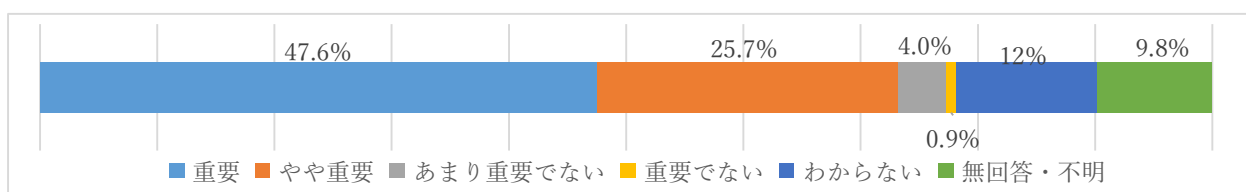
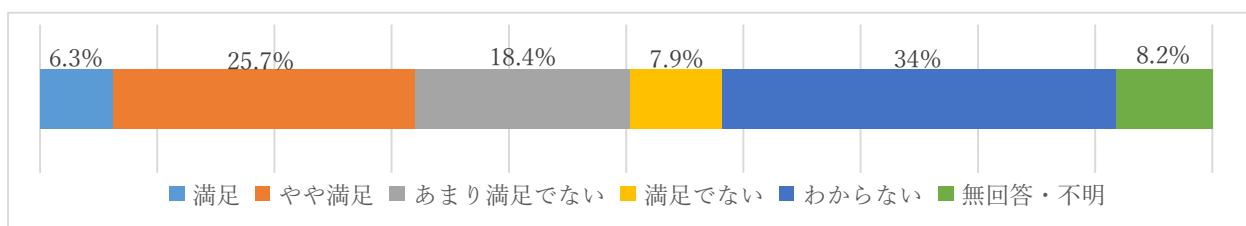
## ③地域・家庭・学校・行政の連携

取組：学校と地域の連携による共育コミュニティの推進、  
家庭以外の子どもの居場所づくりの促進 等



#### ④安全・安心な学校教育環境

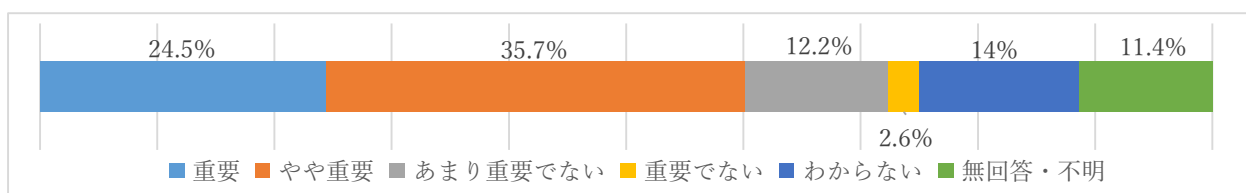
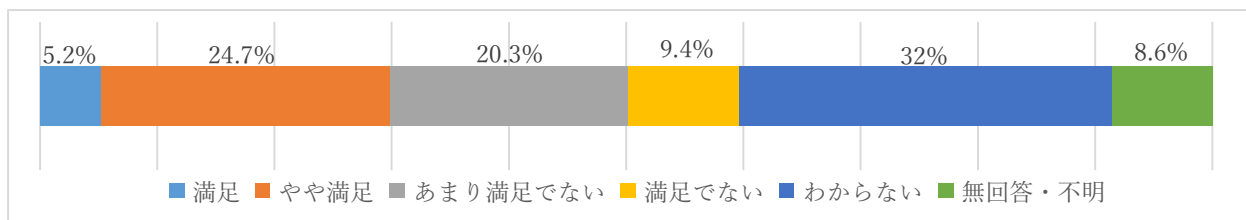
取組：学校施設や通学路など安全な教育環境の確保、  
 幼児保育・教育や特別支援教育、ふるさと教育の充実 等



### 政策⑨ 生涯にわたる生きがいづくりと心の豊かさを高めるまちづくり

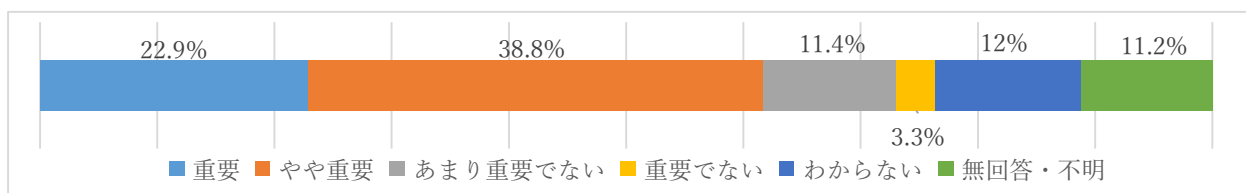
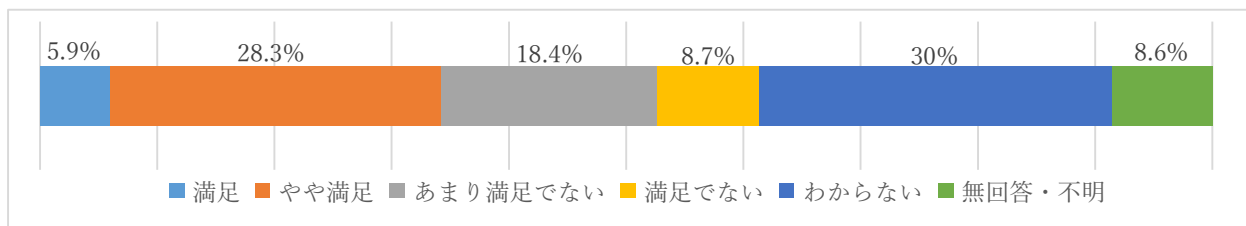
#### ①生涯学習の推進

取組：生涯学習事業の充実や情報発信・発表機会の提供、図書館機能や公民館活動の充実 等



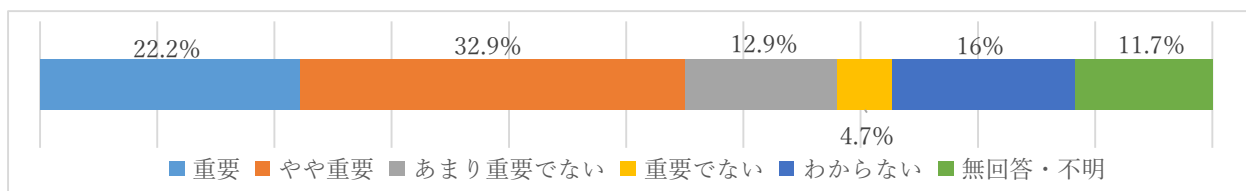
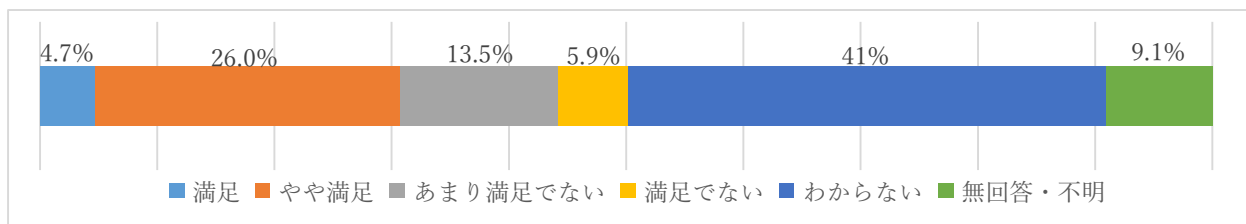
## ②スポーツ施設、活動の振興

取組：生涯スポーツを通じた健康づくりの推進、設備の点検などスポーツ施設の充実、スポーツイベントや教室の充実 等



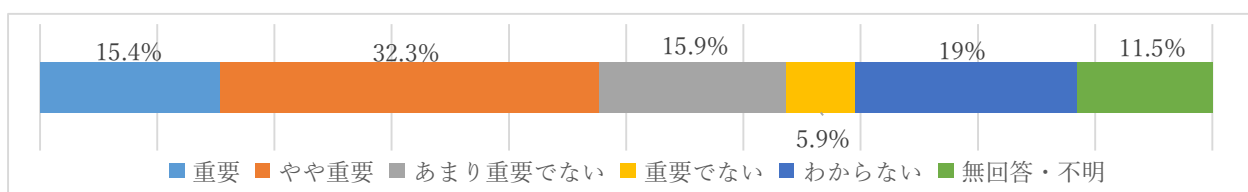
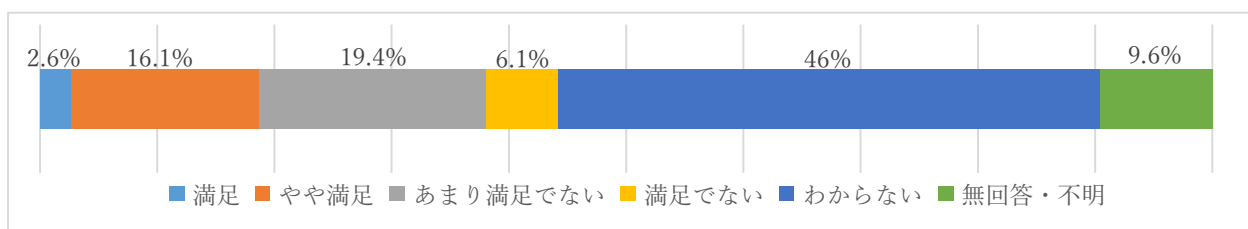
## ③歴史文化遺産の保全と活用

取組：黒河道の保全・活用の推進、文化財・歴史景観の保全・活用の推進・名誉市民の顕彰 等



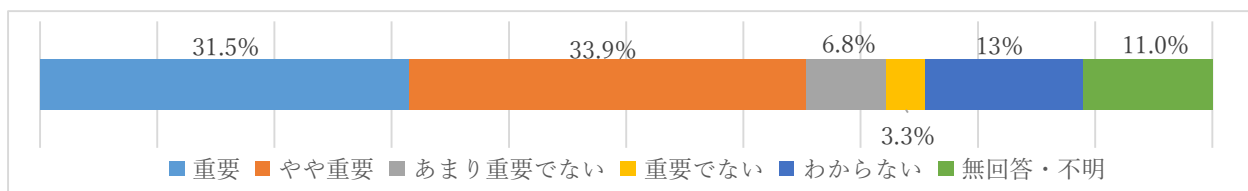
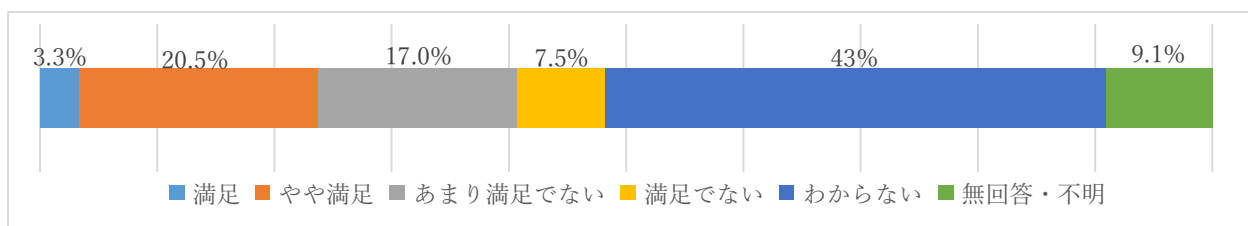
#### ④文化芸術活動、国際交流の推進

取組：文化芸術活動の鑑賞機会の充実、文化芸術活動への支援、友好都市や姉妹都市との国際交流の推進 等



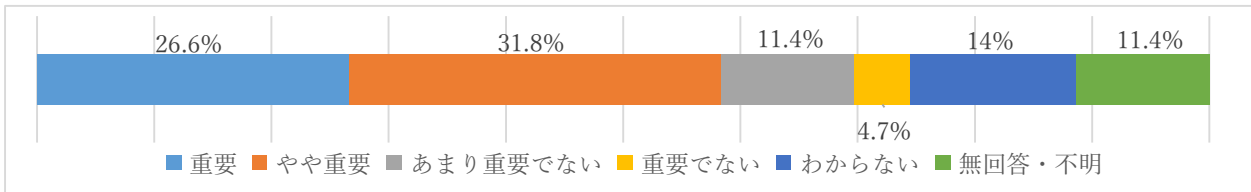
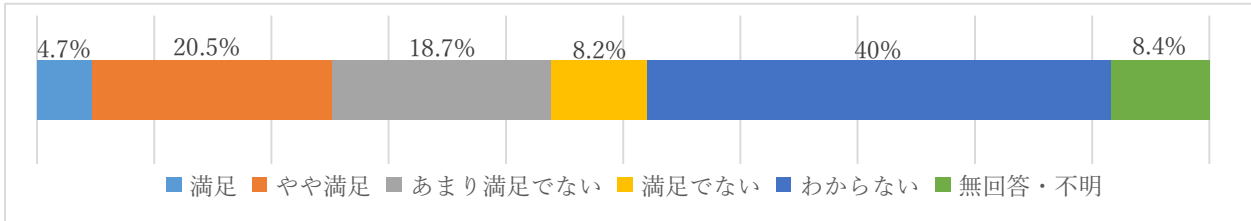
#### ⑤青少年健全育成

取組：青少年の健全育成活動の充実・交流の促進、万引き防止、マナーアップ等啓発の充実 等



⑥地域コミュニティ・協働のまちづくり推進

取組：自治会への加入促進など地域コミュニティの活性、  
市民やボランティア団体・NPO等の活動への支援 等



●散布図による分析

満足度と重要度の選択肢それぞれに5点から1点を設定し、37の施策項目について、ポイントを求め以下のとおり散布図に表しました。

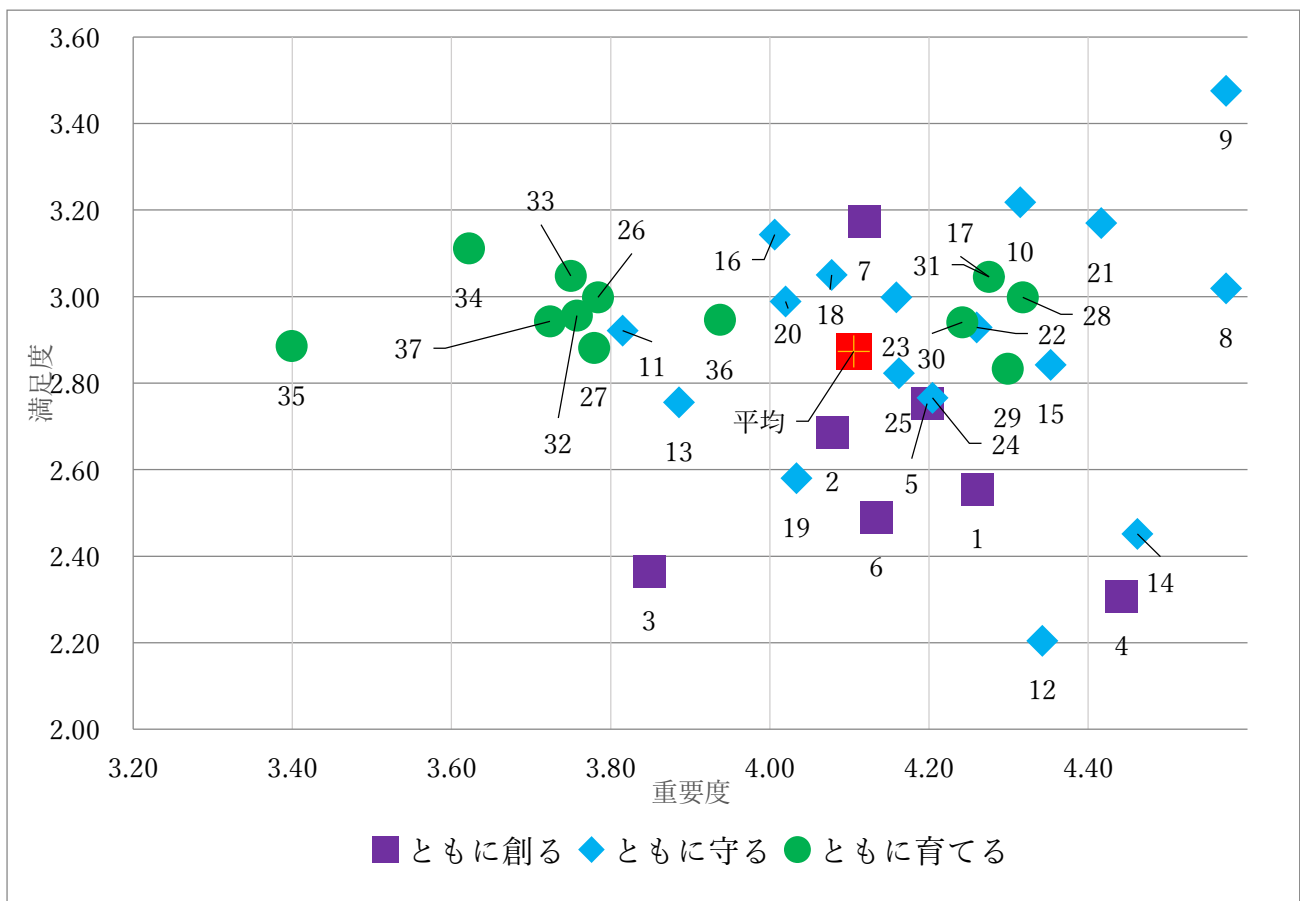
今回の調査においては、満足度・重要度ともに高いものは「消防・救急」となっています。その一方で満足度・重要度ともに低いものでは「観光事業」となっています。

「ともに創る」（図中の■）については、「市民に身近でわかりやすい広報」を除くほとんどの施策の満足度が平均を下回っているため、重要度の高いものから優先的に改善の取組みを進めていく必要があります。

「ともに守る」（図中の◆）については、重要度が平均値を越えているものが多く、今後も継続して取組みを進めていく必要があります。しかし、「地域公共交通」や「道路の計画的な点検・修繕」については、重要度が高いが、満足度が低いため、優先的に改善の取組が必要であるといえます。

「ともに育てる」（図中の●）については、「子ども家庭支援」を除くすべての項目で満足度が平均を超えています。一方、重要度ではバラつきがあり、「文化芸術活動、国際交流の推進」

「歴史文化遺産の保全と活用」の重要度が低くなっています。内容の見直しや改善が必要であるといえます。



※各施策と図に示した番号の対応は次ページを参照してください。

※散布図に表した番号の対応は以下のとおりです。

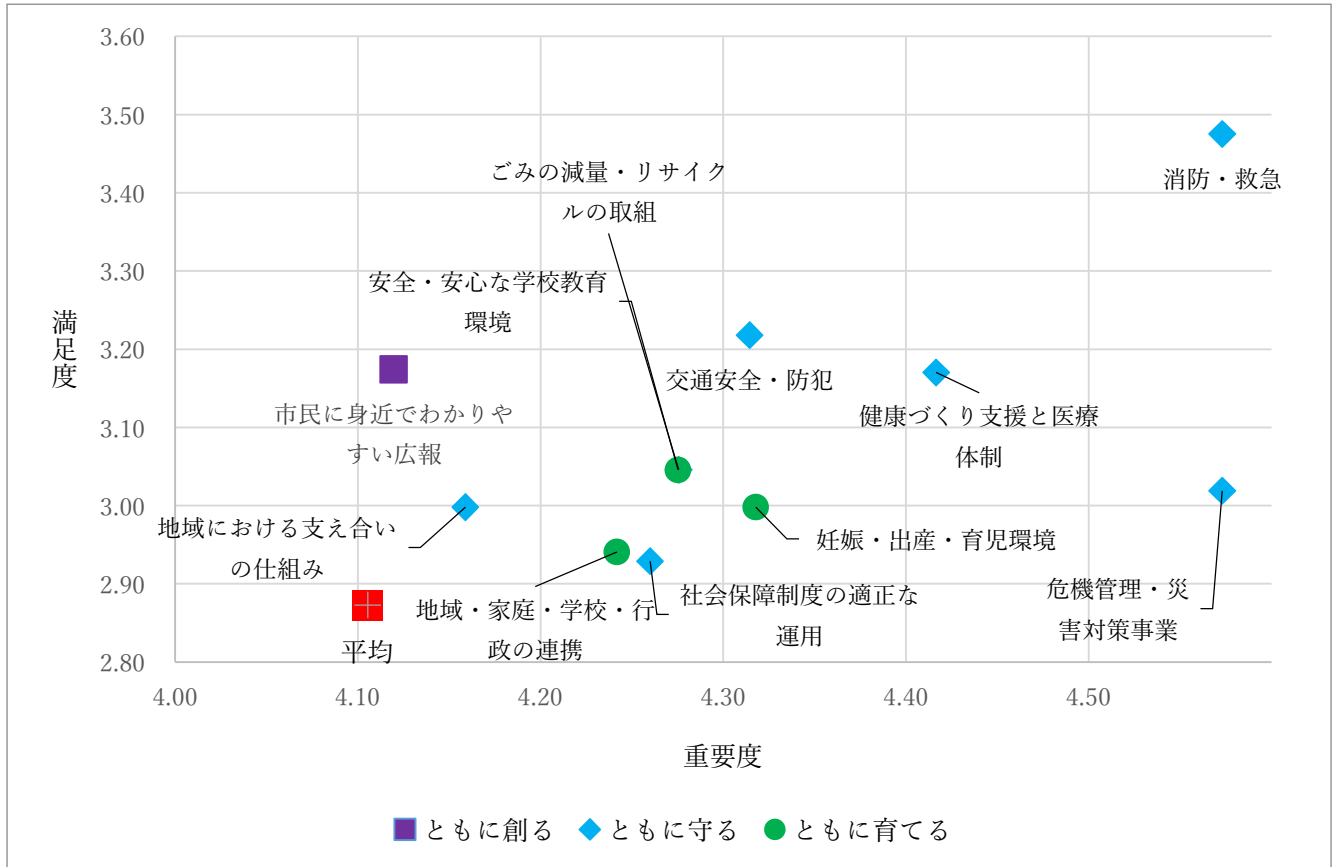
ともに創る	
1	商工業・地場産業
2	農林業の振興
3	観光事業
4	雇用、就労、労働環境の整備
5	企業誘致の促進
6	移住定住の促進
7	市民に身近でわかりやすい広報
ともに守る	
8	危機管理・災害対策事業
9	消防・救急
10	交通安全・防犯
11	消費者普及啓発、トラブル相談体制
12	地域公共交通
13	計画的な土地利用、景観の保全
14	道路の計画的な点検・修繕
15	上下水道の整備
16	自然環境保護の取組
17	ごみの減量・リサイクルの取組
18	生活環境汚染対策の推進

19	住環境（耐震化促進、空家対策）
20	公園・緑地の維持管理
21	健康づくり支援と医療体制
22	社会保障制度の適正な運用
23	地域における支え合いの仕組み
24	高齢者にとっての暮らしやすさ
25	障がい者にとっての暮らしやすさ
ともに育てる	
26	人権尊重と平和学習の推進
27	男女共同参画の推進
28	妊娠・出産・育児環境
29	子ども家庭支援
30	地域・家庭・学校・行政の連携
31	安全・安心な学校教育環境
32	生涯学習の推進
33	スポーツ施設、活動の振興
34	歴史文化遺産の保全と活用
35	文化芸術活動、国際交流の推進
36	青少年健全育成
37	地域コミュニティ・協働のまちづくり推進

満足度の平均値と重要度の平均値を基に4つのエリアに分けると次の通りとなります。

I：継続推進

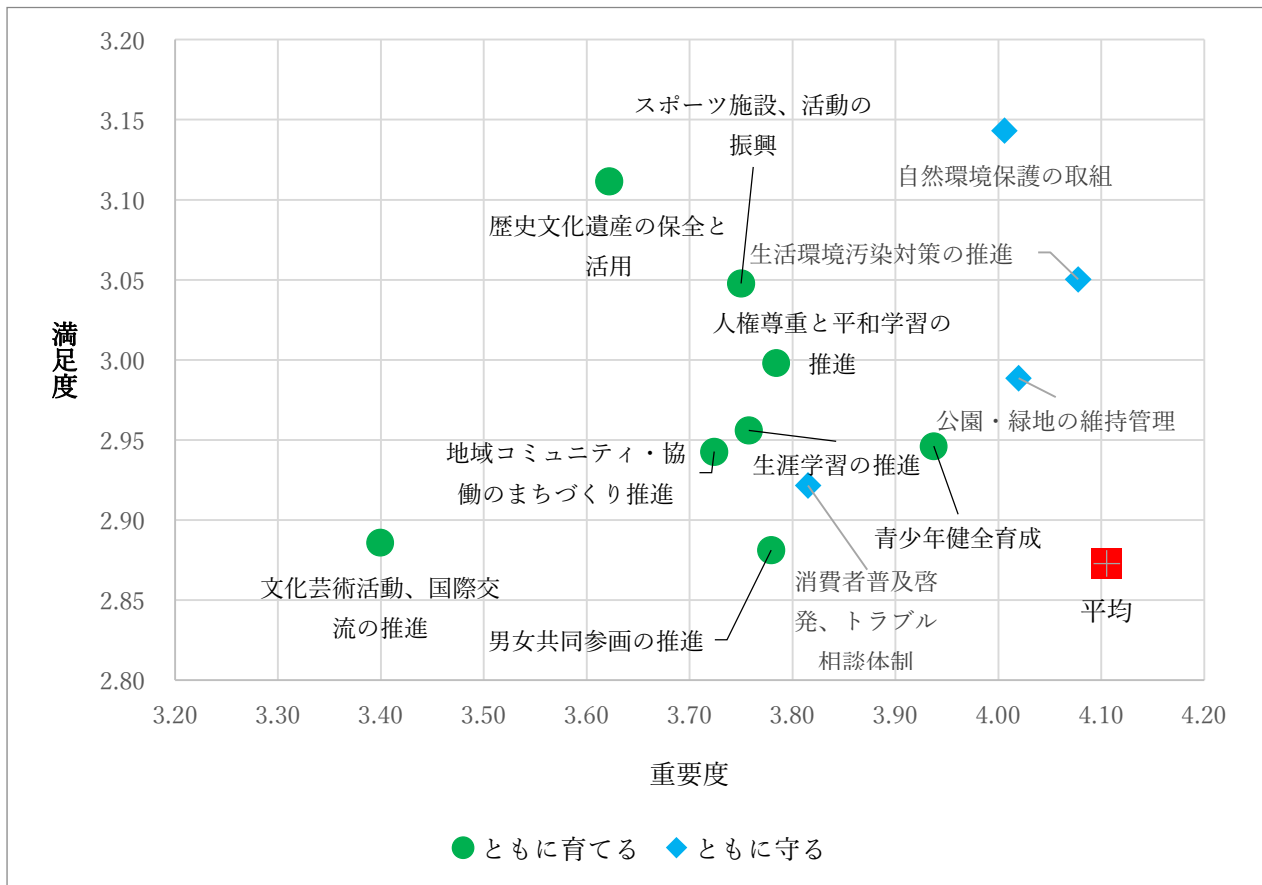
満足度、重要度ともに平均よりも高くなっているエリア。引き続き、満足度に対する高い評価が得られる取組みの継続実施が必要であるといえます。





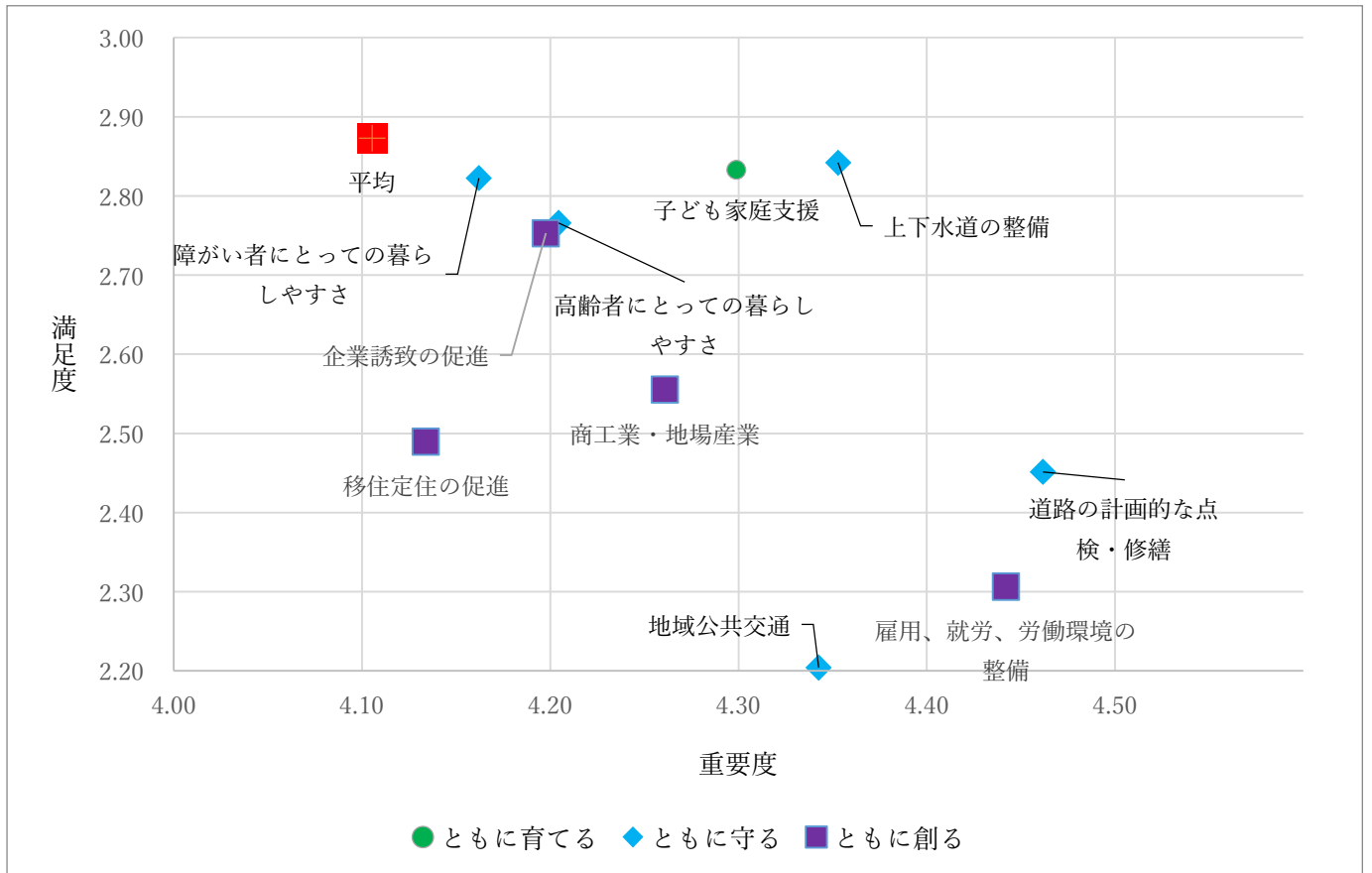
## II：要検討

満足度は平均より高いが、重要度は平均より低くなっているエリア。満足度への評価を維持しつつも、他施策よりも重要度は低いため、内容によっては見直し検討が必要であるといえます。



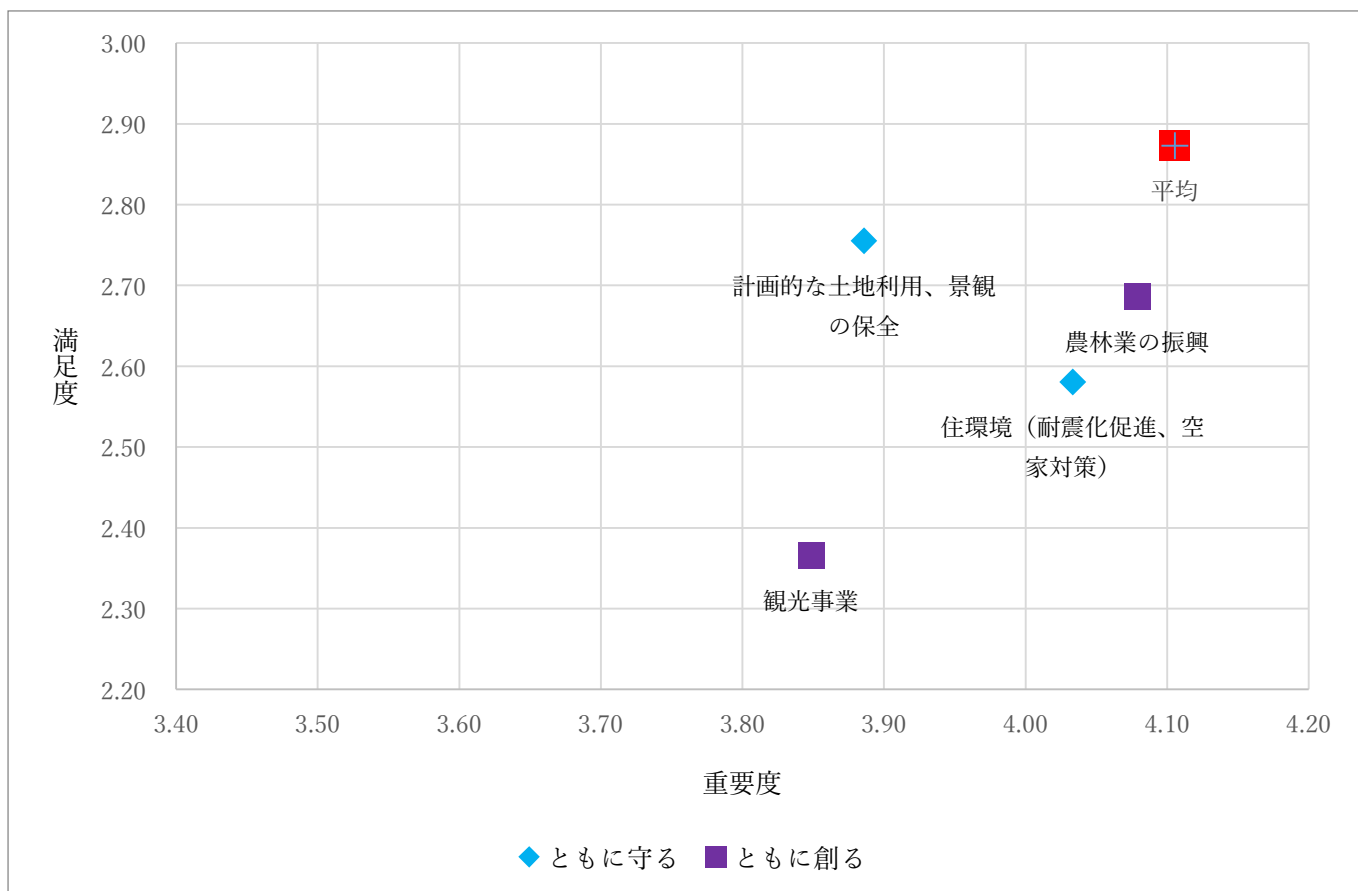
### Ⅲ：重要課題

満足度が平均より低くなっているが、重要度が高いエリア。最も改善が期待されている項目であるといえます。



#### IV：課題

満足度、重要度ともに平均より低いエリア。優先度は低いが、改善が期待されている項目であるため、必要に応じた見直しが求められています。



#### オ 手続きのオンライン化について

問14 橋本市ではスマートフォン等から手続きができる電子申請等の導入を進めています。

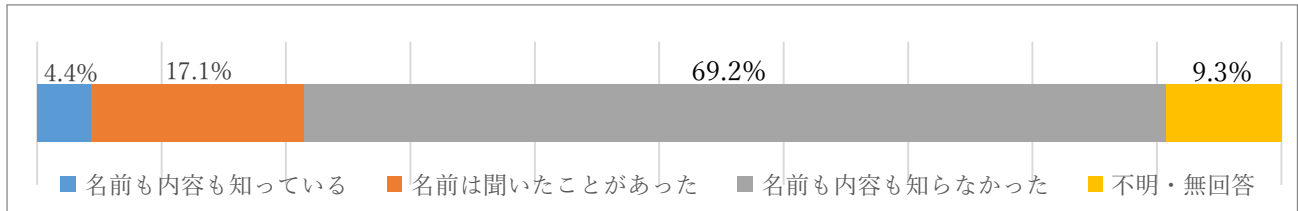
どのような手続きがパソコンやスマートフォンから出来るようになれば便利だと思いますか。(自由記述・抜粋)

- 毎年の就労証明提出など子育て関連
- 私たち高齢者（パソコンやスマートフォンを持っていない）が分かりやすい制度の導入を希望します
- 市役所の窓口から発行されるものすべて
- 全ての手続きをオンラインで完結したい
- 既にあるかも知れませんが、公共施設の予約、図書館の本の有無の確認や予約
- 子ども手当の通知は、メール送信でよい。チャットで質問に回答して欲しい。
- かなりIT化を推進されたので特に思い付きません。安定動作レスポンスが良くなればよいと思います。
- 何でも電子化することがいいとは限りません
- 個人情報の漏洩などもあるのであまり利用したくないです
- 市民税や固定資産税の支払い
- 先につかひこなせない人への教室や無料の研修、相談できるところを周知しないと広まらないと思う。

## カ 協働のまちづくりについて

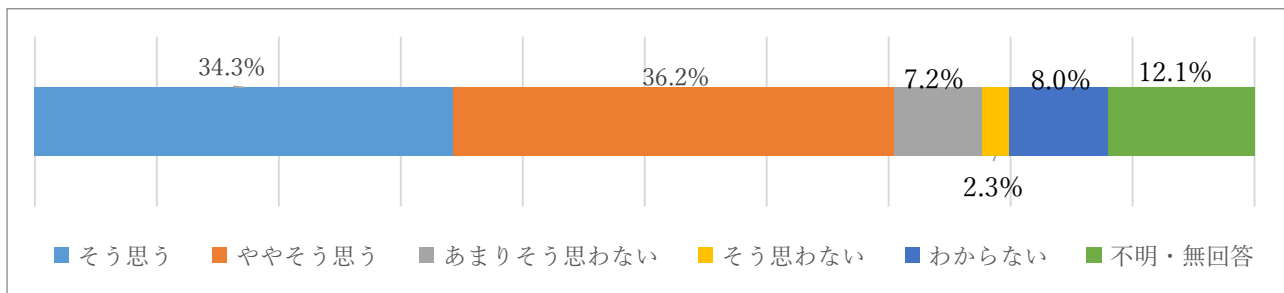
問15 「橋本市の自治と協働をはぐくむ条例」について知っていますか。

「橋本市の自治と協働をはぐくむ条例」については、「名前も内容も知らない」が69.2%と最も高く、次いで「聞いたことはあった」が17.1%、「名前も内容も知っている」が4.4%となっています。



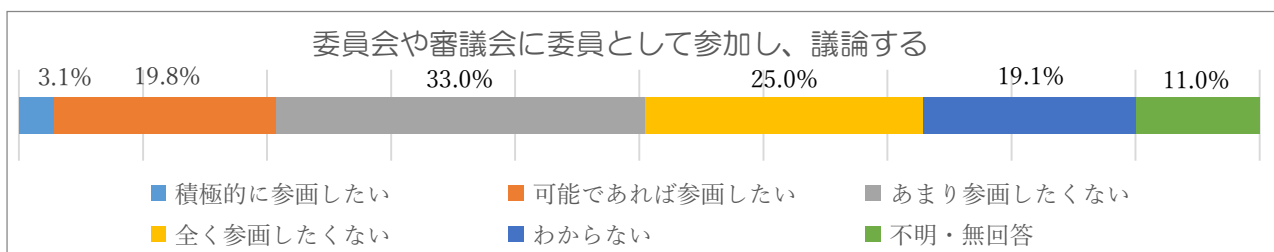
問16 市民と市が協働（協力・連携）して取り組むことが、より効果的な地域の課題解決につながるとお考えですか。

「ややそう思う」の回答が36.2%と最も多く、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると70.5%、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせると9.5%となっています。



問17 興味のある施策や事業に関し、市民参画の機会としてどのような形で参画したいですか。

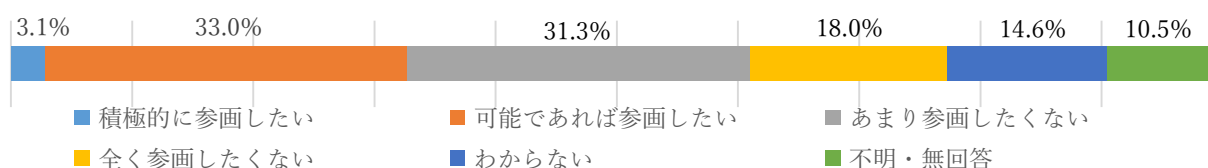
「積極的に参画したい」「可能であれば参画したい」を合わせた参画したいと答えた割合は「アンケートやパブリックコメントで意見を伝える」が最も多く、44.6%となりました。反対に最も割合が低かったのは「委員会や審議会に委員として参加し、議論する」で参画したい人の割合は合計で22.9%となりました。



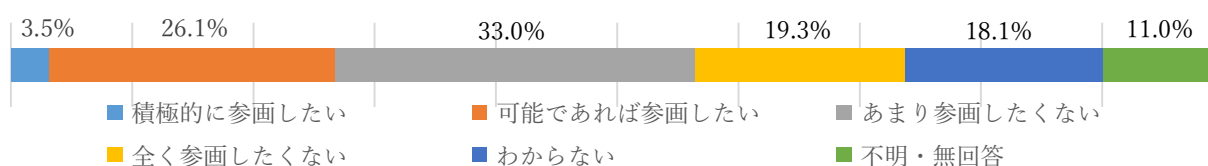
### アンケートやパブリックコメントで意見を伝える



### 住民説明会や出前講座などの説明の場に出席する



### ワークショップやタウンミーティングなどで、行政機関と意見交換する



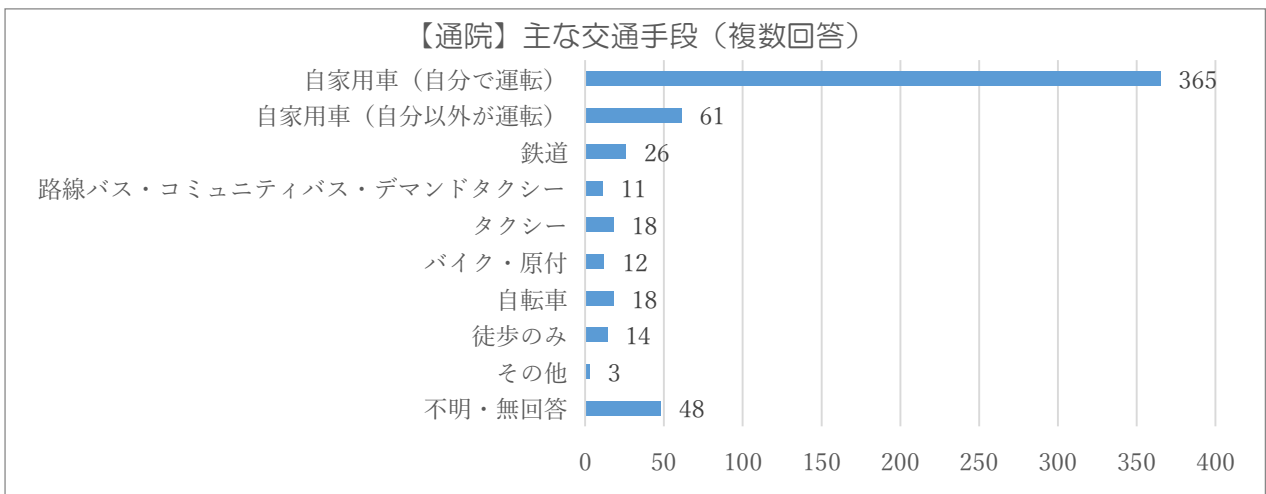
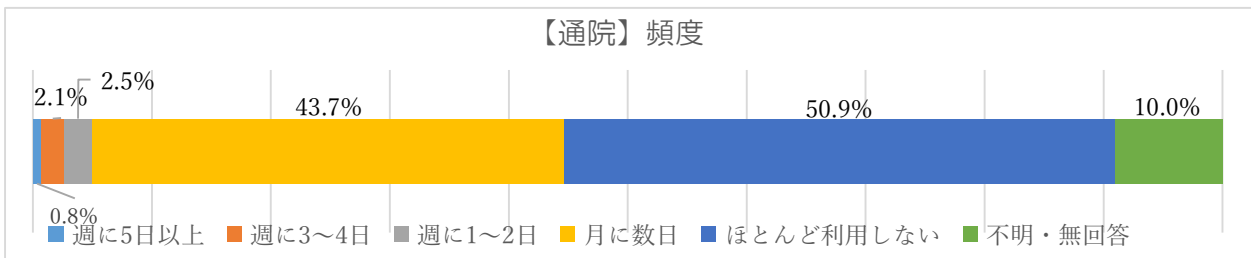
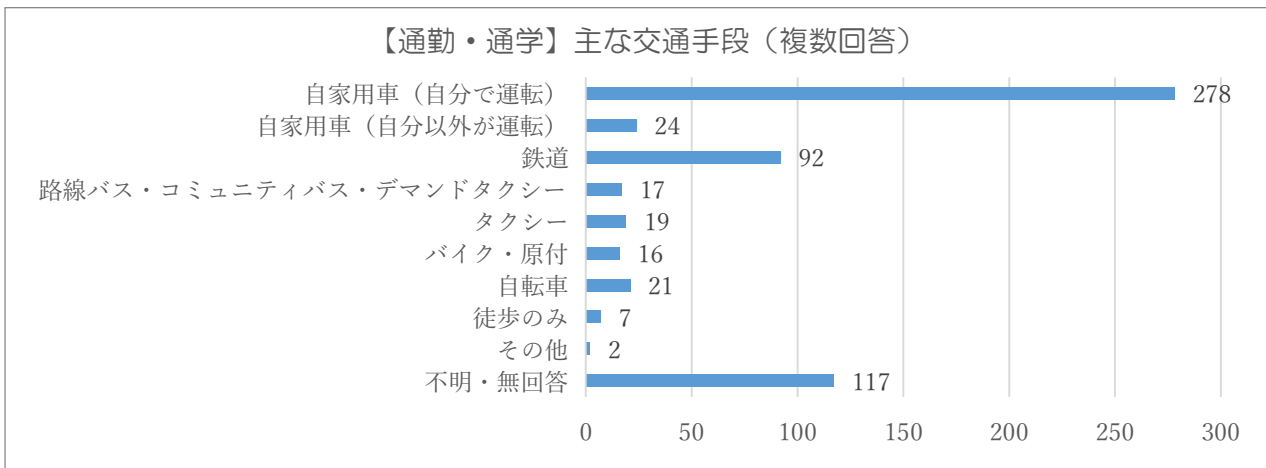
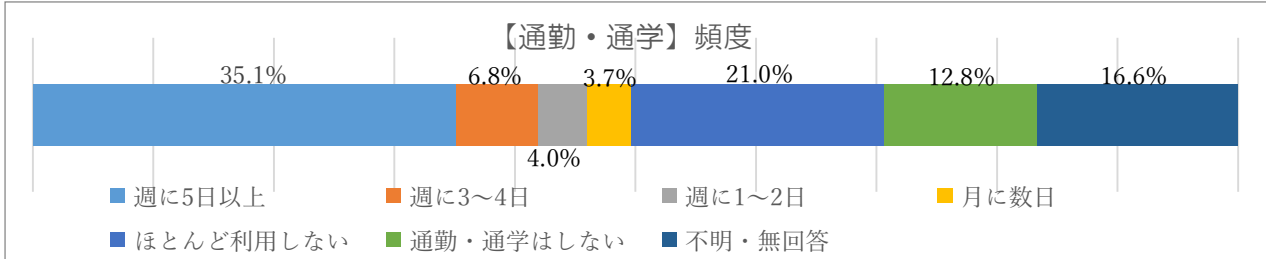
上記以外の方法についてあれば記入してください（自由記述・抜粋）

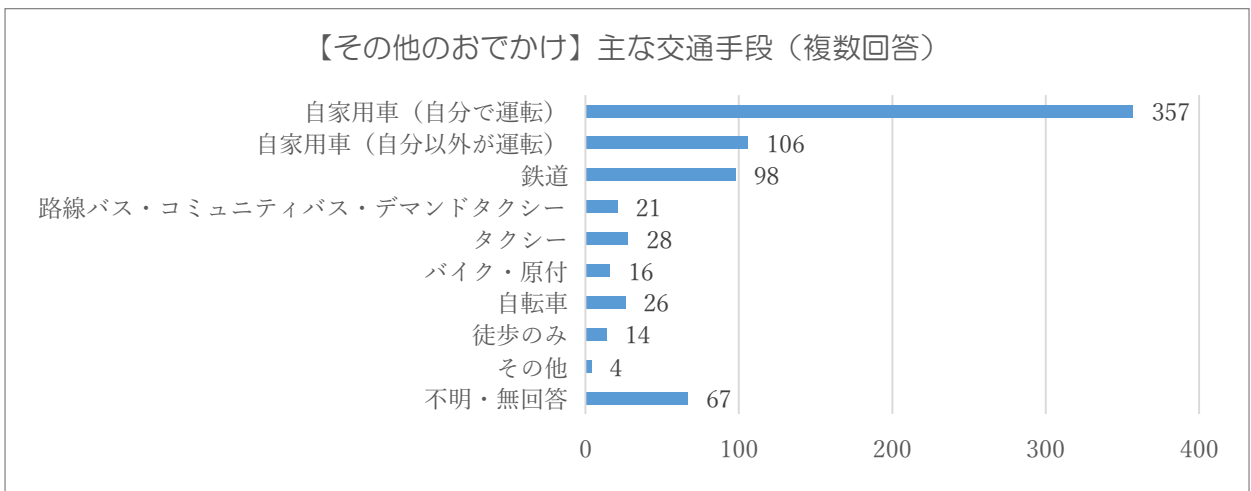
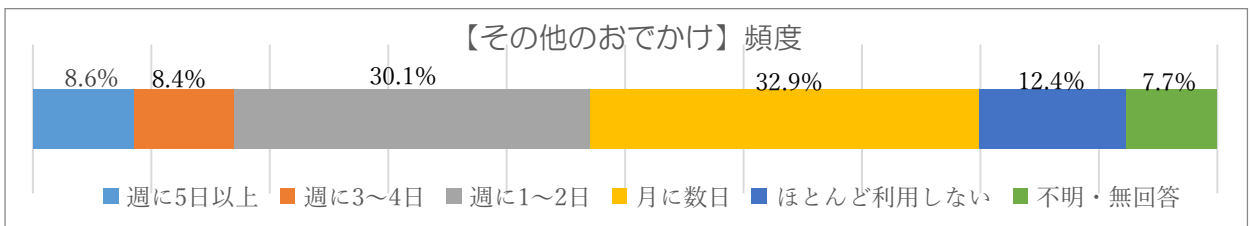
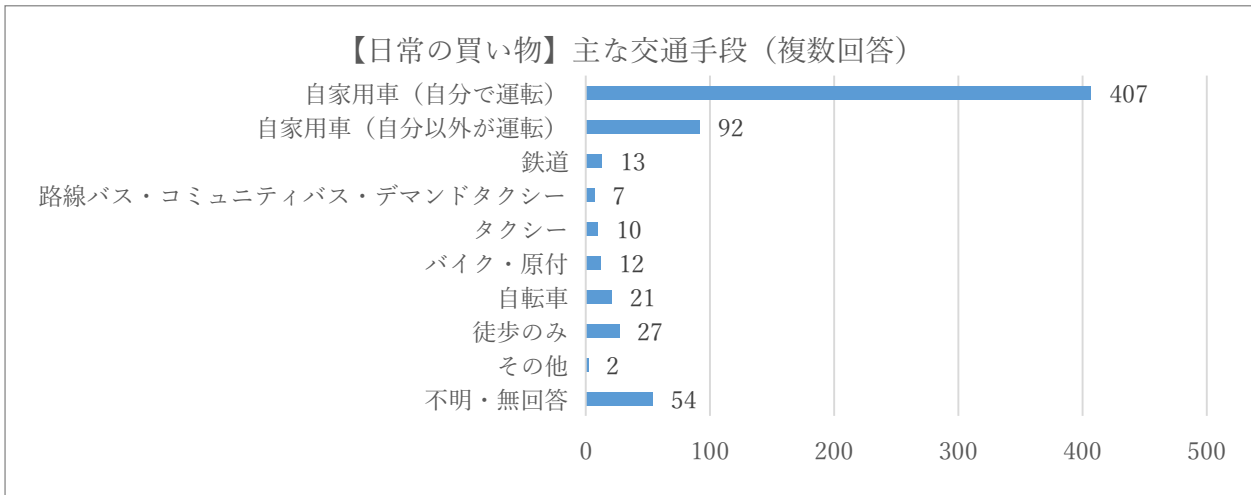
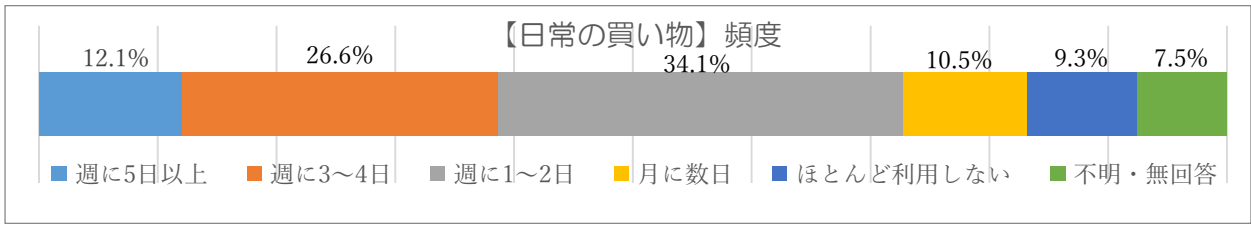
- ・私自身今まであまり広報とか県民の友など読まない派だったのでこれからは読むようにします。とにかく興味を持つ。意識を高めることが大切です
- ・公開された場では意見が出にくいときがあります。担当者とマンツーマンで意見交換もできる嬉しいです。
- ・各地区の自治会に出席して意見交換しては？
- ・参画するのに出席など取らないフリーインフリーアウトな場
- ・参加しても変わらないし、変えようと思っていない人を説得する労力が無駄でした。市民が話をしたとしても聞いてもらえない。以前、和歌山市や奈良市、ほとんどの都道府県でやっていることをしてほしいといっても聞く耳を持たない。何かを変えようとする大変だから今のままでいいという人が多い。余計なことは思いつくなという人ばかり。
- ・橋本は変わらないと思う（不便になるだけで）
- ・市議員と直接対話する場が必要（不要な税金のバラマキ、不要な道作り）
- ・街頭で意見を聞く
- ・SNSなど市民の声を良い部分も悪い部分もすべて公表してほしい
- ・堅い感じじゃなくて対話ができる環境
- ・市役所に専従の担当者を設置する。
- ・ズーム等を利用したオンラインでのミーティング

## キ 公共交通について

問18 普段の外出について、公共交通をどのように利用していますか。

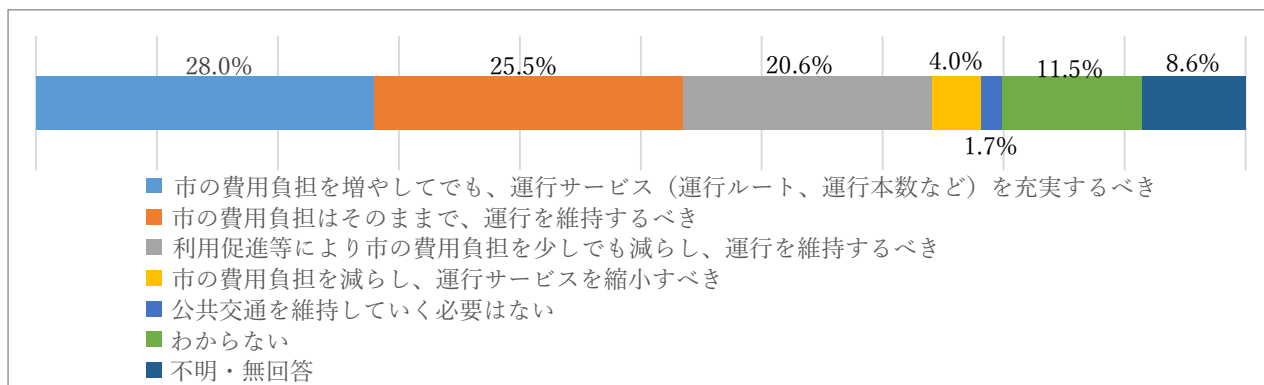
いずれの項目でも移動手段として「自家用車（自分で運転）」が最も多く、不明・無回答を除くと【通勤・通学】では「鉄道」が2番目に多い結果となりました。一方で【通院】【日常の買い物】【その他のおでかけ】は「自家用車（自分以外が運転）」が2番目に多い結果となりました。



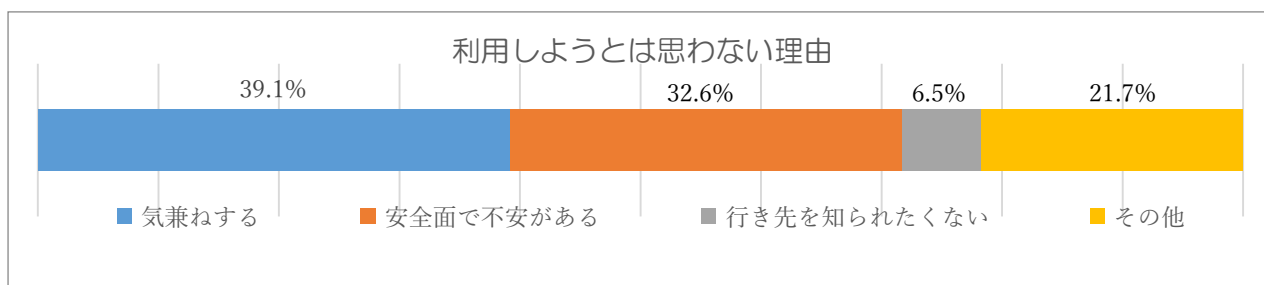
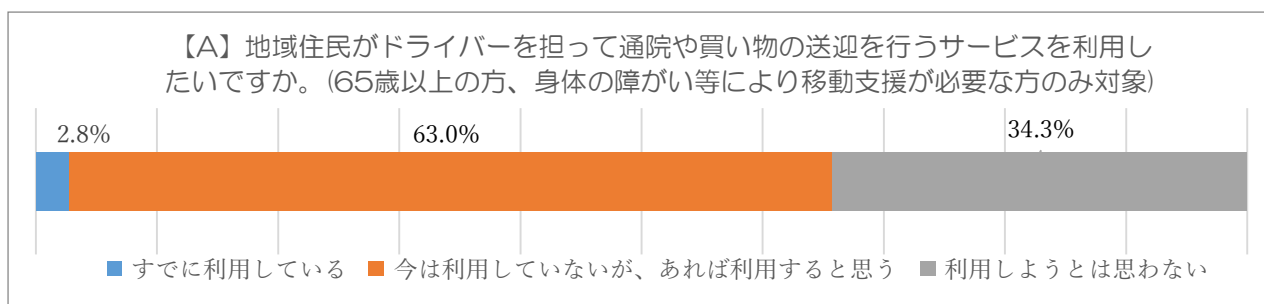


問 19. 現在、公共交通の確保・維持のため市から事業者へ補助金を出すなど、費用負担をしています。このことについて、どう思われますか。

「市の費用負担を増やしてでも、運行サービス（運行ルート、運行本数など）を充実するべき」の回答が最も多く、28.0%となりました。また、運行を維持すべきという回答が2つの選択肢を合わせて46.1%となっています。

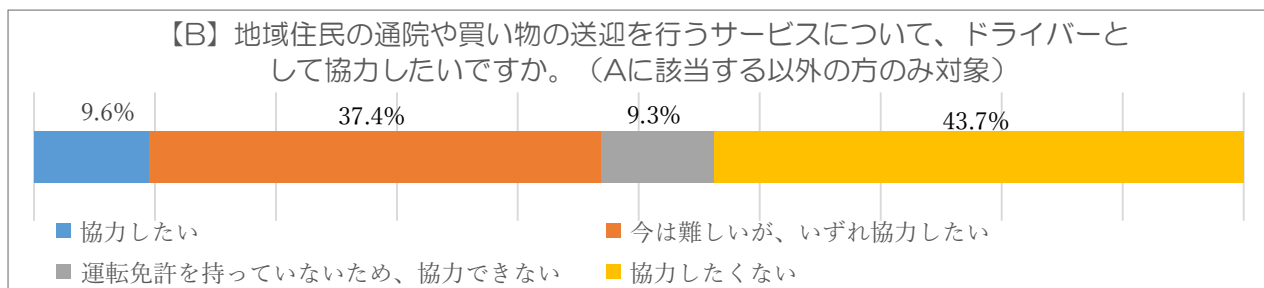


問 20. 高齢者等を対象に、地域住民がドライバーを担って通院や買い物の送迎を行うサービスがあります。あなたは利用したいですか。また、ドライバーとして協力したいと思いますか。65歳以上の方、身体障がい等により移動支援が必要な方のみを対象としたアンケートでは「今は利用していないが、あれば利用すると思う」と答えた方が最も多く、63%となりました。一方で「利用しようとは思わない」と答えた方の中で、その理由については「気兼ねする」が39.1%、「安全面で不安がある」が32.6%となりました。





65歳未満の方、または移動支援が必要のない方のみを対象としたアンケートでは、ドライバーとして「協力したくない」との回答が43.7%と最も多く、次いで「運転免許を持っていないため、協力できない」との回答が37.4%となりました。



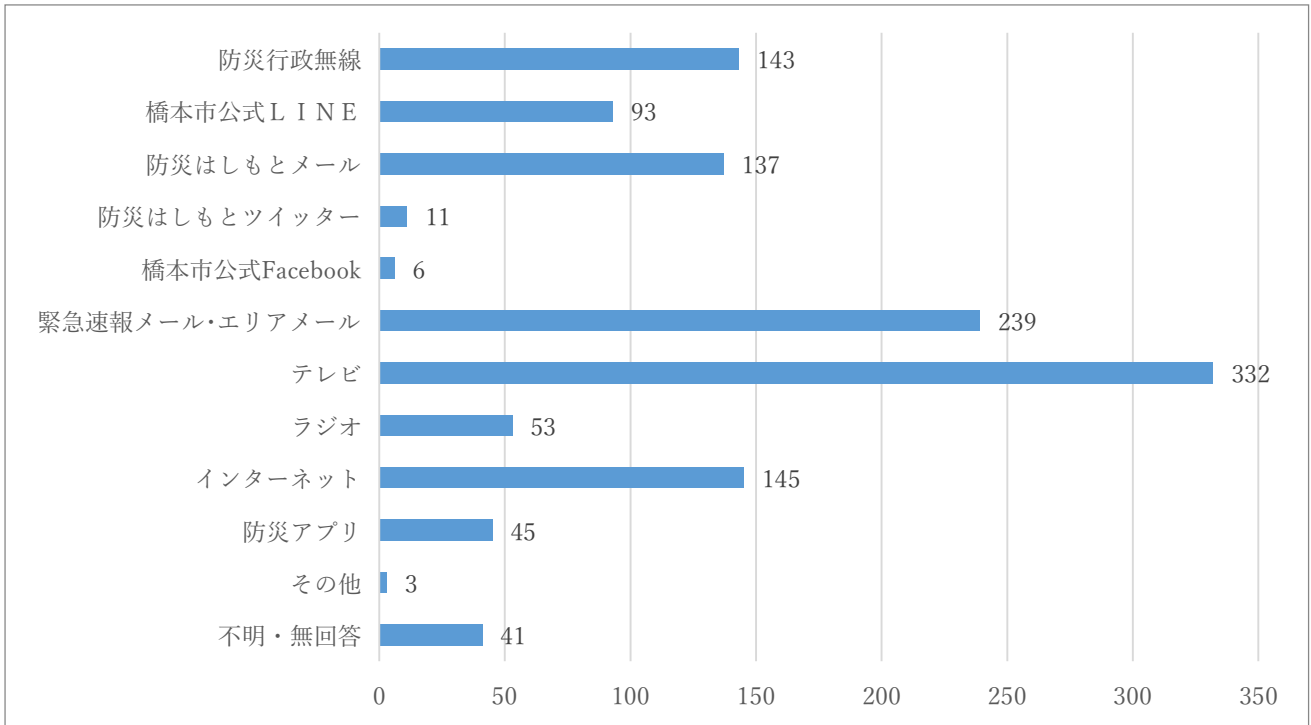
問21 市内の公共交通について、期待することを教えてください。（自由記述・抜粋）

- バスはほぼがらがらです。もっと小さなバスがよいのでは？色々コースをかえ、改善されていますが、やっぱり利用しづらいです。本当に必要な時、タクシーの半額補助等があれば助かります。
- 路線バスが土曜日も通常通り（平日のように）してほしい。病院や市役所が休みだから無理か？
- バスについては本当は運行ルートや本数を戻してほしいが、仕方ないという気持ち。福祉センターへ行くバスが無くなって不便。
- 高齢者が増えているので免許を返還しても安心して暮らせるよう充実している方がよい。
- 無理と思うが、本数の増加
- 78歳です。1人ぐらしです。運転できません。支援1をもらっていますがどうにか買い物はタクシーを使わずに行っています（もったいないので）たまにはやっちゃんにも行きたいです。タクシーを利用すると片道3500円以上かかります。たまには安い花や安いぶどう、かきも見たり買い物にも出かけたいです。月1でも結構です。コミュニティバスを走らせてほしいです（オークワにも行きたいです）もっと幸せを感じたいです。
- 小型バンみたいのでいい（時間的に人が利用しない時間）
- コミュニティバスの運行地域の拡大
- どのルートも目的地が駅、病院、公共施設（市役所）になればもっと利用しやすい
- 自家用車がない、もしくは年齢的に運転が難しいなどの高齢者は、やはり生活は困難というのが正直な気持ちです。バスも走ってはいますが、利用しやすいかということはまだまだ本数が少なく利用のハードルは高く感じます。橋本市内であれば、どこに行くでもバスで移動できるぐらいまで便利になれば、例えば、外食もしやすくなるかと思います。現状お酒を伴う飲食の場合は、誰かが運転する必要があり、楽しみが少し減ってしまいます。代行を頼むとなると、予算も上がります。市の予算的に難しいとは思いますが、検討頂ければ嬉しいです。
- 交通結節点の整備及びその周辺の開発(商業施設など)
- 親の私は今の時刻表だと仕事の時間と合わないのが車ですが、時々利用します。頑張ってますので、消えないで欲しい！！
- パークアンドライドの実現。各駅からそれぞれバス路線が伸びる。鉄道合わせのバスダイヤ
- バスの停留所まで遠く、今後歩くのが困難な状態になる事が考えられるためタクシーなど家の前まで迎えに来てくれると利用しやすい。

## ク 防災について

問22 どのような方法で災害情報を入手していますか。(複数回答)

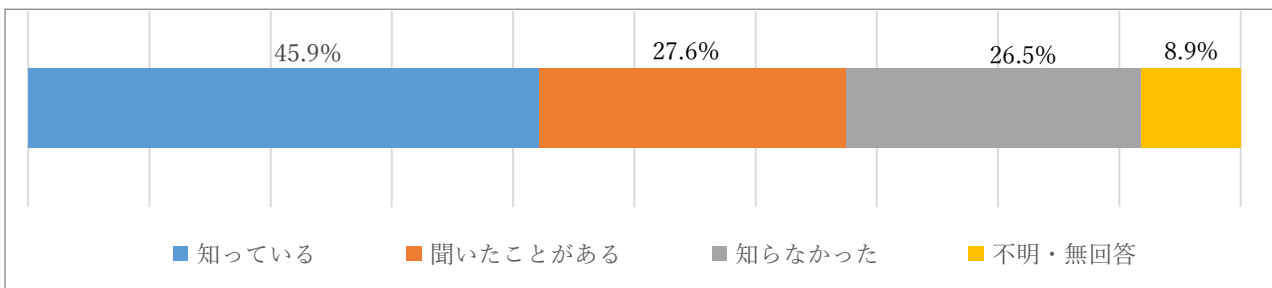
防災情報の入手方法については、「テレビ」が最も高く、次いで「緊急速報メール・エリアメール」となっています。



問23 お住まいの地域に避難指示等が発令された時、あなたは避難行動をとる必要があります。

災害が起きたら避難場所に避難する以外の方法に、自宅とその周辺が安全な場合には、自宅で生活を続ける『在宅避難』があるのをご存じですか。

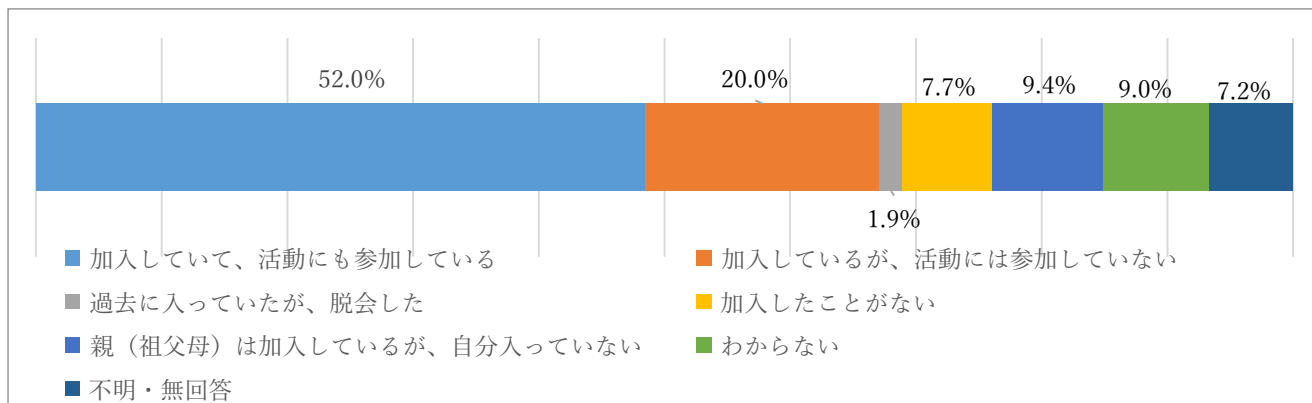
在宅避難に関して、「知っている」が45.9%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が27.6%となっています。



## ケ 日常生活について

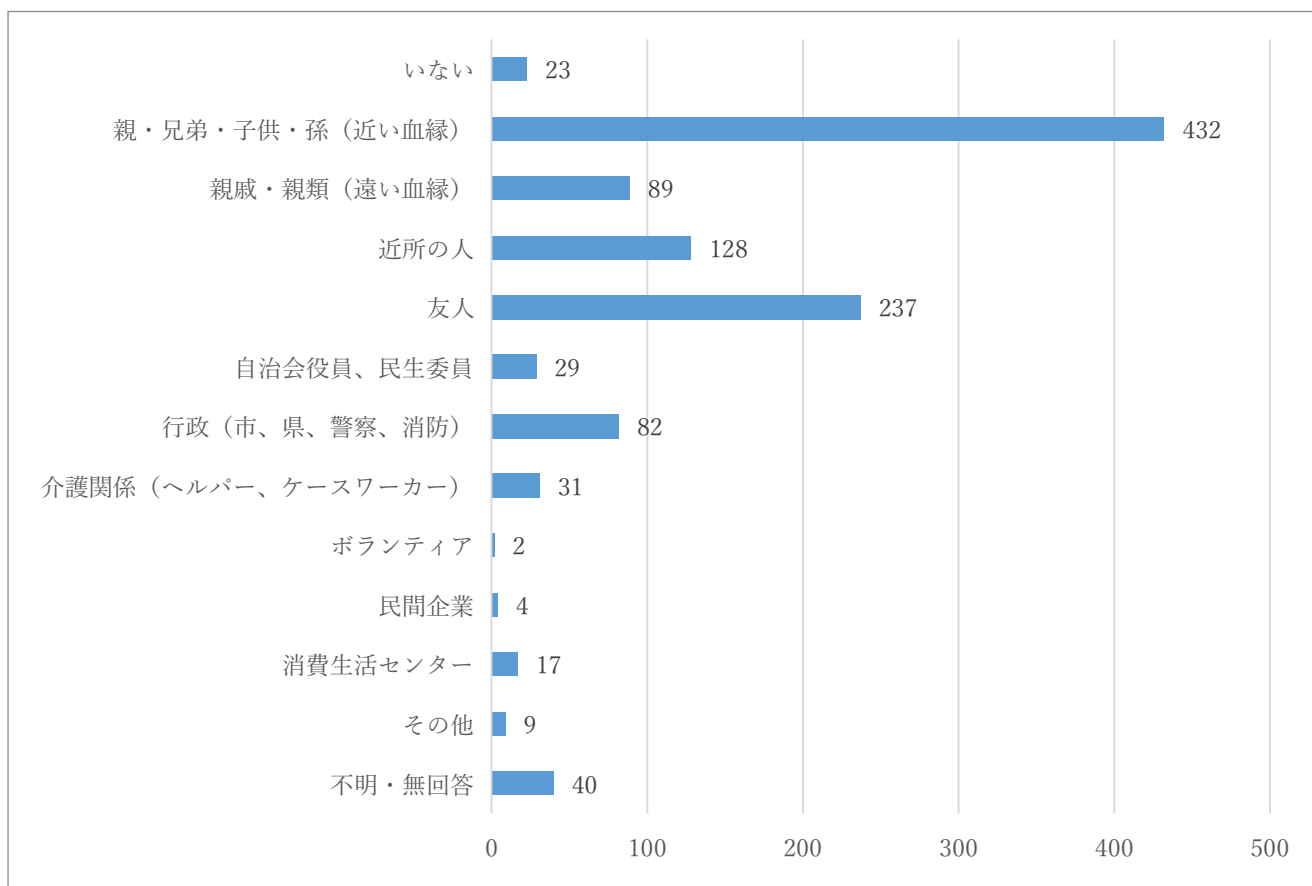
問24 お住まいの地域組織（区・自治会）での活動についてお聞きします。

地域組織を出してしまうときについては、「加入していて、活動にも参加している」が最も多く52%、次いで「加入しているが、活動には参加していない」が20%となっています。



問25 日頃の生活で困ったことがあった場合、だれに相談できますか。（複数回答）

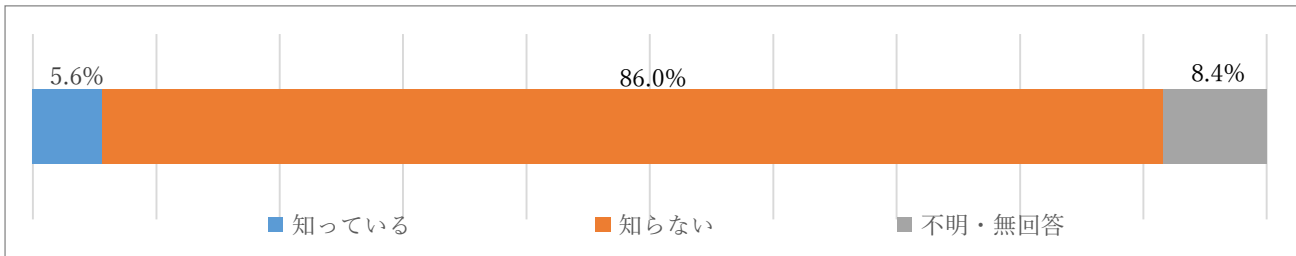
困ったときの相談相手について、「親・兄弟・子供・孫（近い血縁）」が最も高く、次いで「友人」となっています。



## コ 遠隔窓口について

問26 行政手続を1つの窓口にしたまま、モニターを通して各担当課と繋がり、手続きができる遠隔窓口が高野口地区公民館に設置されていることを知っていますか。

遠隔窓口については86%の方が「知らない」という回答となり、「知っている」と答えた方は5.6%となりました。



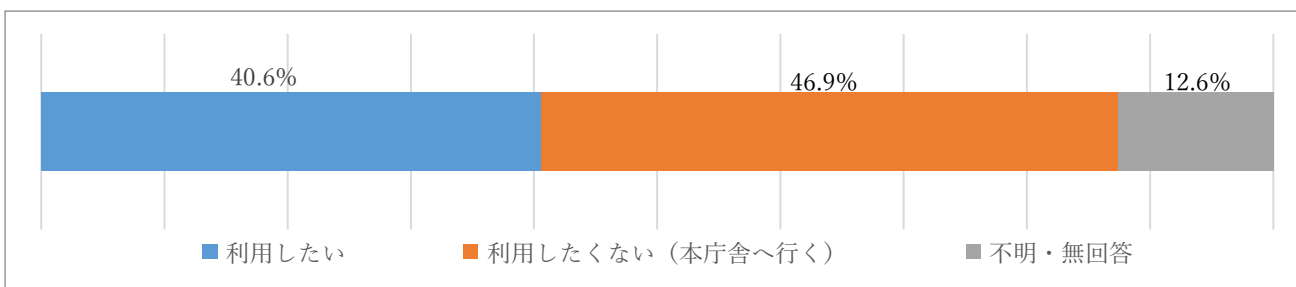
知っている場合、何で知りましたか

(問26で「知っている」を選んだ方が対象(自由記述・抜粋))

- ・ 広報
- ・ 先日敬老の日市長のお話の中で知りました。
- ・ 友人が Facebook でシェアしていた
- ・ 自治会会合
- ・ (高野口地区公民館で遠隔窓口端末を) 見た

問27 高野口地区公民館と同様に近隣の公民館等の公共施設で、本庁舎とモニターを通して繋がることで、本庁舎と同じ手続きができるようになった場合、利用してみたいですか。

遠隔窓口の利用意向については、「利用したくない(本庁舎へ行く)」が46.9%、「利用したい」が40.6%となりました。



問28 問27で利用したいと回答した場合、どこに設置されていたら便利だと思いますか。

(自由記述・抜粋)

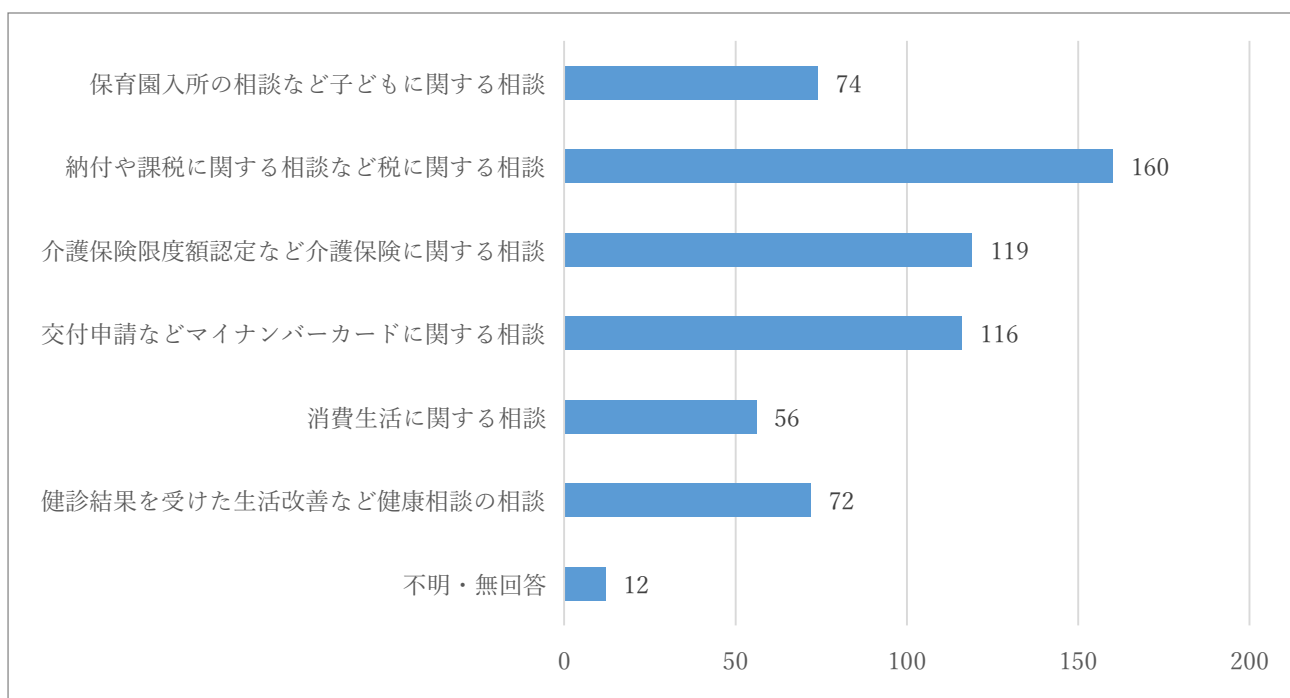
- ・ スーパーや駅の横など
- ・ 公民館や市民病院に設置があれば便利だと思います
- ・ コンビニなど近く。小学校とか？公民館で行くなら市役所まで行くからいらぬ。自宅できれればもっといいのに。
- ・ コンビニ
- ・ 近くの集会所

問29 問27で利用したくないと回答した場合、その理由をご記入ください。(自由記述・抜粋)

- 操作になじみがなく、手間に感じそうだから
- 直接会って話した方がうまく伝わると思うから
- いつでも本庁舎に出向ける環境にある
- 遠隔で出来たとしてもどのみち本庁舎へ行かなければならないと思う。本庁舎に行った方が手続きが早いと思う
- 車で行くことになるので本庁舎も公民館もあまり変わらないので本庁舎へ行く
- モニターってのが苦手
- 耳も悪く、直接の会話が良い
- 役所に行く必要がある時は、時間的に仕事を休む必要があり、どうせ休むなら、それほど遠くない本庁舎へ行きます。何が手続きをするということは、書類を提出したり、押印をしたりする場面があると思うので、1度で済ませたい。
- どこかに出向く必要なく自宅からオンラインで対応できるようにするのがベスト
- 結局どちらに行くにしても車に乗って「外出」しないといけないので、より確実な方がよい。
- 恥ずかしい
- 公民館などへ行く手段がない。本庁へ行くのと同じだ！！
- FACE TO FACE が大事だから。
- 遠隔窓口を利用するほど手続きに行かないので必要であれば本庁に行くので利用しないと思う。

問30 問27で利用したいと回答した場合、どんな行政手続きが遠隔窓口でできたら便利だと思いますか。

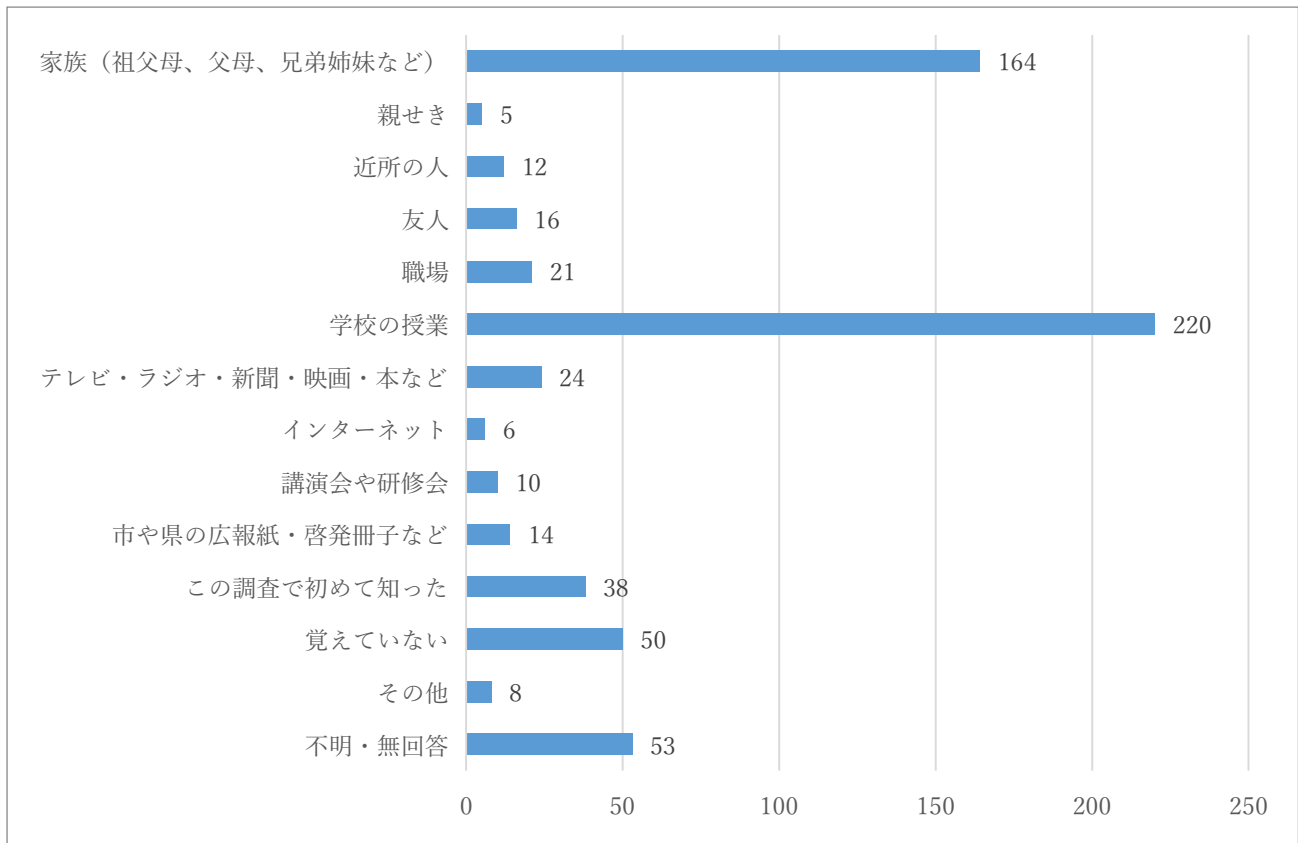
「納付や課税に関する相談など税に関する相談」が最も多く、「介護保険限度額認定など介護保険に関する相談」「交付申請などマイナンバーカードに関する相談」が続く結果となりました。



## サ 人権について

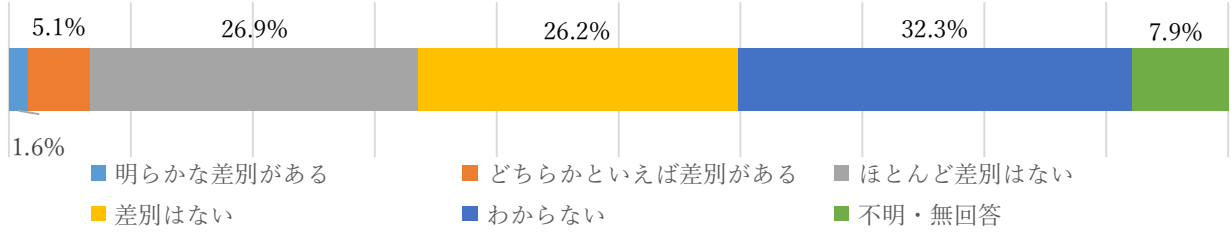
問31 あなたは、同和地区や同和地区の人々に対する差別があることについて、初めて知ったのは誰から（何から）ですか。（複数回答）

差別について初めて知ったのは「学校の授業」と答えた回答が最も多く、次いで「家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）」が多い結果となりました。

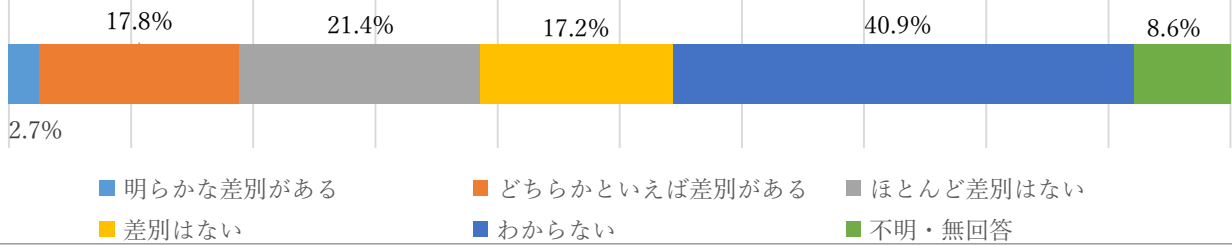


問32 同和地区や同和地区の人々に対して、現在、次のことについて差別があると思いますか。いずれの項目についても「わからない」との回答が最も多くなりました。特に「インターネット上での差別的な書き込みや情報の拡散について」では他の質問よりおおむね10%程度「わからない」の割合が多くなりました。2番目に多かった項目として、「日常の交流や交際において」「結婚に際して」「住宅や土地の購入、引っ越しに際して」では「ほとんど差別はない」、「就職に際して」「インターネット上での差別的な書き込みや情報の拡散について」では「差別がない」という結果となりました。「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」の合計は「結婚に際して」が最も高く、20.5%となりました。

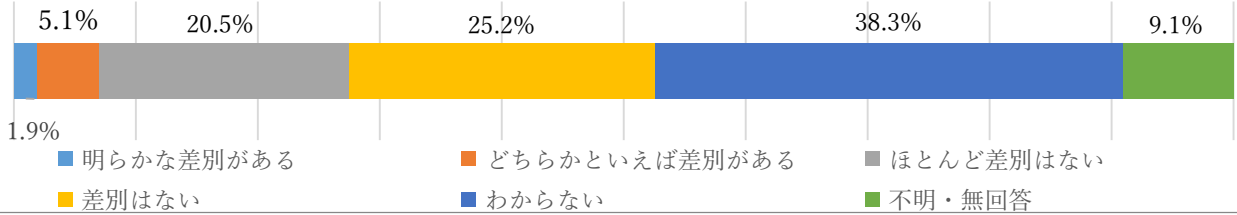
【日常の交流や交際において】



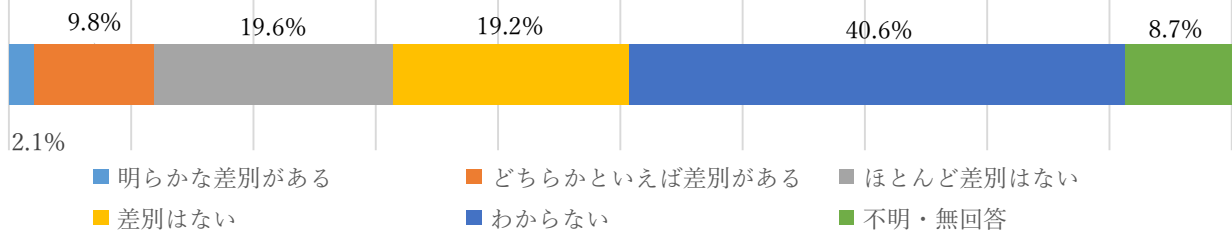
【結婚に際して】



【就職に際して】



【住宅や土地の購入、引っ越しに際して】

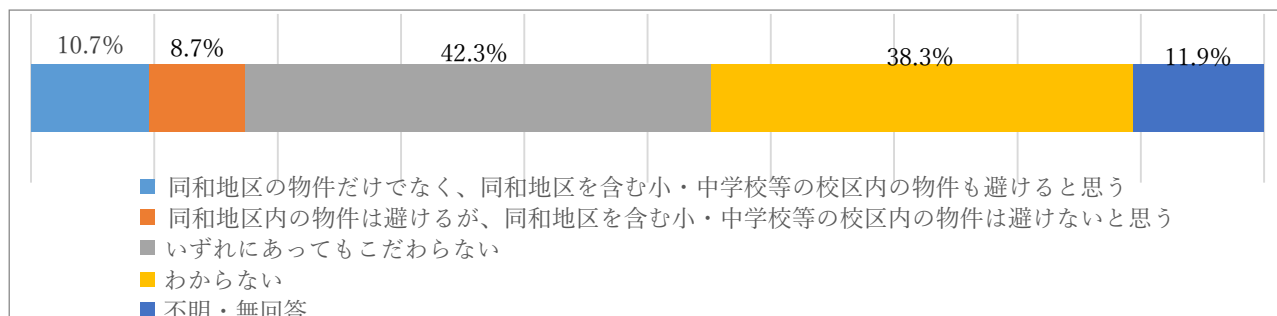


【インターネット上での差別的な書き込みや情報の拡散について】



問33 もしもあなたが家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶとしたら、同和地区や同和地区を含む小・中学校等の校区内の物件は避けますか。

物件については、「いずれにあってもこだわらない」が最も多く42.3%、次いで「わからない」が38.3%という結果となりました。



問34 問33で「1」又は「2」と答えた方にお聞きします。その理由をお書きください。

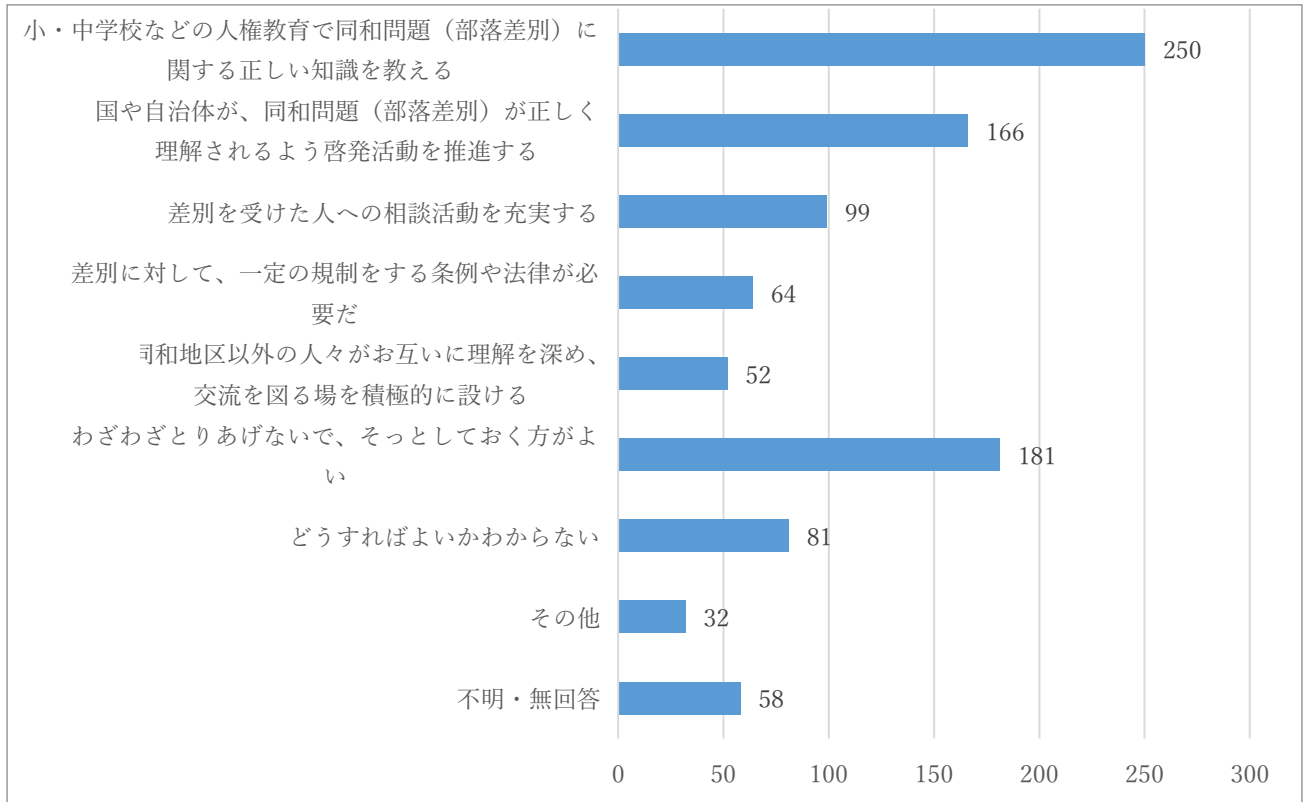
(自由記述・抜粋)

- ・ 選べるのであれば避けたいという思いがあるから
- ・ 子供が成長していく過程で、差別的な扱いを万が一でも受けることを避けるため
- ・ 部落差別はあってはいけないが実際に住むとなったら控えたい
- ・ 差別は根強く残ってると思うから
- ・ 同和地区に住んでいるだけで差別されると思うから
- ・ 他県で育った地域から来た私 同和地区はなく教育も受けていません。橋本に来てからあまりにも同和同和言い過ぎると思います。それに地区の団結力が強いように思い中に入りにくく感じる
- ・ 周囲の目を気にするかもしれない
- ・ 部落差別されたくない。差別されたら生きていくのがつらいし苦しくなると思うので
- ・ 何となくそう思います
- ・ 自分は気にしないが、世の中に気にする人がいそうだから
- ・ 子どもに差別がいくかもしれない
- ・ 別になんとも思っなくてなくお付き合いも出来てるがどちらかと言われれば考えるかな？
- ・ 差別はしたくないと思いつつも、やはり不安な面があるから
- ・ 事前にわかっていたら避ける可能性は否定できない
- ・ 就職について勤務していた会社の東京の上司が 採用試験の時、総務の方と、コレコレの者は同和地区出身で無いか確認してと話しているのを聞いたから
- ・ 差別などする気はなくてもポスターや行政のホームページなどであれほど「同和問題は根強く残っている」といわれれば、そこへ住むことで自分も差別の対象にされるかもしれない地域を避けたいと思うようになるのは当然のことだと考えます。
- ・ 同和地区のことがよくわからないので避けます
- ・ あえてそこを選ぶ必要がないから
- ・ 学校教育で教育を受けたがゆえに意識が芽生えた



問35 同和問題（部落差別）を解決するために特に必要なことはどのようなことだと思いますか。（複数回答）

「小・中学校などの人権教育で同和問題（部落差別）に関する正しい知識を教える」が最も多く、次いで「わざわざとりあげないで、そっとしておく方がよい」という結果となりました。



### シ 橋本市のまちづくりについて

問36 今年、橋本市の人口は6万人を下回りました。人口維持のための取り組みがより重要となります。橋本市を住み続けたいと思う魅力的な町にしていくために、どのような取り組みが必要だと思いますか。あなたのお考えを自由にご記入ください。（自由記述・抜粋）

賑わいと活力を創出する地域産業づくり	
1. 商工業・地場産業	
<ul style="list-style-type: none"> <li>公園や自然等、魅力的な子育ての場はたくさんありますが、ショッピングモールや映画館が近くに欲しいよね。とよく周りの方とも話しています。今は都会や別の地域の方に橋本に何があるのか聞かれても「自然」としか答えられず、その自然もキャンプする場所（特に無料で開放）できる場所がなかなかないので橋本の良さを伝えづらいです。（大阪には公園でも無料で出来るバーベキュー場があって素晴らしいです）</li> <li>昔から感じているのは、店舗などは入れ替わりが多く、数が増えていないイメージが強い。パチンコ以外の娯楽施設（若い子供たちが市内で遊ぶ、満足できる）がもっとあればと思う。雑草だらけの河川敷等、出来る限り整備して、有効利用してもらえれば…橋本駅周辺の活性化。空き家の有効活用（もっと市政も参入して）</li> <li>必要最低限の政策だけに税金を使って。もっと民間や個人事業主がのびのびできる環境を整える。本</li> </ul>	

<p>当に必要なのかと思う政策が多く感じる。有料ごみ袋の廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しめる商業施設が何もない 自然や空気はいいので都会から遊びに来たい町にしてほしい</li> <li>・有名な店舗等の誘致を進めてほしい！どうしても大阪に魅力を感じてしまう</li> </ul>
<b>2. 農林業の振興</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した企業を誘致し、法人税収入を増やし住民への負担を減らして転出をなくす。新興住宅地以外の下水道整備事業を拡充する。 農業従事者、特に稲作は高齢化により離農が多くなりつつあるので、食糧難にならないように行政は農協に任さず対策せねばならない。</li> <li>・地場産業があるとのおのずと人が生活が居住が増えると思う 農業をしたい若者が増えることも大切 それには国や自治体が支援をしていく体制をつくる事から。高齢者が次世代にバトンタッチできていない現実です。次世代が農業に目を向けていくことから始めなければ手おくれかも？です。</li> <li>・インフラの充実、農業振興地域に新しく家を作りにくい。農地、農業の近代化、若い人の取り組める農業環境づくりが必要と思います。</li> </ul>
<b>3. 観光事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋本市を観光の町にする。全国から人を集めて橋本市の活性化を図る</li> <li>・観光に力を入れ、魅力的な店を増やすべき 給食費を無料にするなど、子育て世代が住みやすい街づくり 病院の数をもっと増やしてほしい（特に若い世代がすぐに行ける内科）</li> <li>・公共交通機関を充実させる。田舎の良さをもっと生かすリゾート等を作る。飲食店などの休みをばらけさせる。店の閉める時間をもっと遅くする。</li> <li>・大阪、奈良の県境で仕事も他府県のほうが賃金が高く、通常の買い物以外は橋本市からでて買い物を楽しむ環境となっている。観光、アクティビティ、と橋本市で完結するサイクルが生まれれば、市の財政状況も改善し、魅力的な福利厚生を提供でき、プラスの循環が生まれることを期待する。</li> <li>・就労できるところを増やす。観光客が来るようアピールする</li> </ul>
<b>雇用の創出と就労環境づくり</b>
<b>4. 雇用、就労、労働環境の整備</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業が少なく就職に困る。観光面にも力を入れ全国規模で知られる名産品の開発と知名度を上げて橋本市を知ってもらう</li> <li>・仕事があることはもちろん、あっても給与が低いことが問題である。大阪府内で働く方が高い収入が得られるのでそちらに引越す人が増える。また、働く場所も魅力的な所が少ない。工場などの肉体労働ではなくクリエイティブな働き方を求める人にとって橋本市はものたりなく感じる。</li> <li>・地場産業の発展と物価が下がり給与等が上がって、魅力ある職場があればいいかな。高齢の人でも働ける場があればいいかな。それよりもっと若い人が働いてみたいと思う新しい企業が橋本市に来てくれたら最高！！</li> <li>・県内就職 自分も含めて周りは県外へ就職して転居している 魅力ある企業を誘致テーマパークまではいかないけど遊べる場所 人が集まる地域づくり</li> <li>・結婚して子育ても充実出来、それなりの収入が得られる就職先をたくさん作ること。若者が出ていかない環境づくり</li> </ul>
<b>5. 企業誘致の促進</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致等。明石市の様な子育て支援</li> </ul>

- ・財源確保と企業誘致。子育て世代、新婚世帯への補助、街づくり。
- ・企業の誘致、雇用の確保、大阪並みの賃金確保、住民税の軽減、だんじり廃止、大学の誘致、高校無償化、自動車購入補助、新しい産業
- ・若い人が子供を育てていきやすい街へ子育て支援の充実。企業誘致は中小企業ではなくステータスと高給の期待できる上場企業。
- ・橋本市の魅力は緑が多いところだと思います。大阪のベッドタウンとして発展してきましたが大学や仕事の為橋本市を離れる人も多いと思います。企業誘致で橋本市内で働く場所が増えると人も集まると思います。保育、教育の充実で子育てがしやすいと若い人も定住しやすいと思います。スポーツ施設や公民館活動も健康で長寿のために必要だと思います。医療も重要です。

### 充実した情報整備と魅力的なまちづくり

#### 6. 移住定住の促進

- ・企業誘致や定住への補助などできる限りの取組を橋本市の方は行っていると思います。近隣の市町村の方からは橋本市が住みやすいという話も聞きます。あとは、大阪などに通勤する人達への広報かなと思います。いつもご尽力下さりありがとうございます。
- ・子供をたくさん産んでも経済的支援の充実 転入者向けの支援 橋本市で解決できる店舗等の充実、誘致 橋本市への企業誘致、雇用拡大
- ・市外からの受け入れ すみ良い街化
- ・適度な田舎感をアピールする。昔、南海電車の吊り広告で「都会に一番近い田舎、橋本」というのを見て、まさにそのとおりと思いました。”

#### 7. 市民に身近でわかりやすい広報

- ・こども園と保育園の充実。若い夫婦が住みたくなる景観とホームページの充実（SNSばかりでHPにイベントなどのっていない）子育て支援の充実について、もっと分かりやすくまとめたHP。子供を産んでもらうために子供にかかる費用の負担軽減。単発的なものではなく継続されるもの。市民プールなど市民が使う場の料金の見直し。高くて利用しにくい。
- ・地域情報発信のためVtuberを行う 生活をする上での生活モデルを発信する（年収や収支等）子どもが住みたいと思う地域にする 橋本市で子どもを産むとメリットがある状態にする
- ・もっと住民1人1人の意見をランダムに聞いて良いこと、不満、不備、不心に思っていることを取り入れて改善する必要があります。
- ・議員さんを60歳以下の若い方をお願いする SNSなどで昔からある行事などを改めて紹介する 移住を積極的に誘致する
- ・テレビ、ラジオ等をつかってのPR、住みたいと思うようにはめをはずした宣伝活動。
- ・市民の意見をすべてくみとるのは難しいですね。ただ市長はどんな市にしたいのか、発信されているのかもしれませんが感じる事ができません。子育て、大学まで自宅から通勤がしやすい、奨学金等も充実した町 子どもから老人まで生活しやすい町 アンケート長すぎです

### 安全・安心な暮らしと、生活の利便性を支える都市基盤づくり

#### 8. 危機管理・災害対策事業

- ・市の人口減、住みよい街とは言えないと思う。公民館活動に料金を取るのはやめていただきたい。なんのための公民館か。公民館はなんのためにあるのか、よく考えていただきたい。市の放送、聞

き取れない。災害の場合、雨や風の音で全く聞き取れない。

- ・妊婦健診補助サービスを充実させる。他市の人口増加につながっている魅力的な取り組みを参考に取り入れる。地元の方々のつながり？強く、他所から来た人の人間関係構築が難しく感じる事が難しく感じる事ががあるので、地域でのつながりを感じられる活動、子供会の復活があればと思います。水道代を安くする取り組み、災害時に陸の孤島とならないための対策。

#### 9. 消防・救急（0件）

#### 10. 交通安全・防犯

- ・死角のない町、カメラや暗い場所等のない市を目指してください
- ・子どもの住みやすい町に。公園が少ない、日陰のある(休憩できる)公園、土日など休みの日に遊びに行ける場所が殆どない。空き家の取り潰しを積極的に。住みたい地区に土地がなければ、引っ越してきてもらえない。役場前の国道の渋滞の解消で役場をもっと使いやすく(今は出来るだけ、その道を使いたくない状態)。命を育む授業など、折角いい活動があっても親子の参加が少ないと意味がないため、市から子どもを生んだ家庭に連絡を入れてくれたらいいのに。橋本市は全体的に、車のマナーが悪い。親族が来るといつも「この街の車のマナーが、」と言われる。主要道路や、子どもがよく通る道など危険運転がないように看板や人を派遣してほしい。警察の方と連携してマナーを意識できるイベントをしてほしい。
- ・通行量の多い道に、スピードバンプなどを設置して欲しい(特に坂道で見通しの悪いカーブ地点など)。立て看板に「速度落とせ」などと書いても、しっかり読まないような人たちがハイスピードで走り抜けていくので、意味がないと思うし、景観が悪くなる。ぜひ物理的な仕掛けで交通事故を減らす工夫をして欲しい。よろしくお願いします。市内は病院が多い割に、待ち時間が長かったり電話予約ができなかったりと通院時の使い勝手が悪い。各病院でオンライン予約システムに対応してくれれば時間を無駄にすることもなく、長く安心して住み続けられる。システム整備のための病院向け補助金などがあれば良いのでは。

#### 11. 消費者普及啓発、トラブル相談体制（0件）

#### 12. 地域公共交通

- ・交通が便利になるように考え、買い物、役所、病院へのアクセスを再考する。カキが特産なのでカキ祭り、カキ踊り、カキの歌、カキに関するあらゆるアイデアをもって全国的に人々にアピールする
- ・交通が不便である。交通の便を計ることが重要であると思う。
- ・車を使用しなくても市内を出れるような交通手段を整備してほしい(コミュニティバス等の便数も減ってしまった)高齢者が外出しやすく、買い物できるように特別な車両(バス)等用意しなくても軽四ぐらいでいろいろな場所から駅かスーパー、病院、役所に行けるようにすれば市にお金が落ちると思います。
- ・車が無くても生活に困らないようにすべき
- ・自然の中で子育てしたいと大阪から移り住みました。子供も大きくなり年寄りだけになりまた大阪のほうへ戻っていく人もいます。若い人達が住みよい街にするのも大切だと思いますが車を使わなくなったら日々の生活がどうなるかな？と不安に思う世代の人たちがもっと行動をして色々働きかけていくべきかなと思います。

### 13. 計画的な土地利用、景観の保全

- 市民に対しての補助充実 市が保有している土地、持物の有効化、活用化 プレミアム商品券などの補助金を計画
- 橋本の開発
- 橋本駅前の早期開発 空き店舗等の活用 わくわく感を覚えるような施設の充実（駅前での）を希望
- 先ず橋本市の玄関口である橋本駅前の再開発と上下水道の整備を早急をお願いいたします。数十年間全く変わらない玄関口は住民として恥ずかしい。しかも未だに汲み取りは論外です。本当に早く対応しないと誰も来ないし住みたいとも思わないです
- 駅前の再開発。高野山に観光へ行こうとする人が橋本でも降りてみようと思えるようなまちづくりと景観の保護。高野山との連携。歩いてたのしいまちづくり。

### 14. 道路の計画的な点検・修繕

- 紀見トンネルの早期完成 ららぽーとのような大型商業施設の建設（映画館）（ショッピングモール）大手の趣味の教室 果物（特に柿、桃、みかん）をやっちゃんだけでなく旬の時期にはスーパーセンターオークワPとか人が集まる場所で売り出す。都会にももっと売り込む 橋本市の政策は充実していると思うが若者が移り住む条件は政策など気にしていないと思う
- 公共交通機関の利便化 車道の整備 最低賃金を1000円以上にする 学校での発達障害についてのセミナー等の授業
- 橋本市から大阪市内方面へ行く高速道の整備（新規）が必要であると考えている。橋本から阪神高速などへの接続等（河内長野等を通過するときなどが非常に不便）
- 道路整備を促進し、利便性を向上させる。企業誘致を促進し、雇用の場を確保する。若年層の企業、スタートアップを支援し、定住を促進する。
- 道路網の整備

### 15. 上下水道の整備

- 大阪に隣接していて人口が増えないのは問題であり今はSNSなどで近隣の市の様子が分かりやすくなっておりますので比べられても見劣りしないように常にみられていることを意識して取り組んでいけばいいと思います。現状でも高すぎる水道代についてももっと取組をしていってほしいものです。
- 水道料金、住民税が高い。子供の医療費などなんでもかんでも無料にしなくてよい。一定の費用はとるべき。しわよせはどこに来るのか？今の事だけを考えず、長い将来を見通した施策をやって行くべきである。
- 若い人たちが子育てしやすい環境に！水道代・ゴミ袋代が他市に比べて高い！
- 地元で仕事がなく、大阪などで働く人が多い。通勤時間もかかるので地元に離れざるをえない。もっと大阪へのアクセスを良くしてほしい。また下水道の施策があったが、以前水道課に問い合わせたところ、これ以上、下水道を増やす計画はないと聞いた。ではなんのために施策にしているのかつじつまが合わない。最近はどこも下水道が完備され、若い人たちもそれに慣れている。移住者を呼び込むにも下水道がなければ、移住先を別の市町村に変更する人もいると思う。前述の交通網のことといい、もう少し市民の声を反映した町作りを期待する。

### 豊かな自然と暮らしが調和する生活環境づくり

## 16. 自然環境保護の取組

- 橋本市は商工・工業の町ではなく自然の残る町です。地域の産業に力を入れ自然を残してほしい。老齢化が進む中、後継者を育てることに力を入れてほしいと思います。
- 山川と自然が多くあるのに周辺の環境整備をして、川で遊び、山で遊ぶようなところ、桜を植え紅葉などに推進してほしい
- 就職先を増やす（単価を上げる） 自然を維持しながら開発していく 子供の給食費や教材費等の無償化
- 新しいブランドになるもの自然環境から、衣食住 人間回帰できる。この自然環境を利用して安らげ癒し向上し雇用、生産する。水、里山、森、山と根古川再生 虫の育成、保護山野草の保護と鑑賞(……) 沢遊び、フライ釣り、グランピング、三石山散策路再生、山菜の生産と保護、紀伊見温泉施設の拡充日帰り入浴充実宿泊場所にカフェ併設、地元の憩の場に山菜地場生産 雇用拡充
- 若者の雇用の場の創出、確保がないと橋本市に定住し、生活していくことは難しいと思う、(そういう意見を回りの友人からも聞く。) 緑豊かな橋本市の景観を守りつつ、活かすことを第一に、と都市的な面も融合されたまちに発展すれば、田舎過ぎない洗練された橋本市になるのでないかと考えます。 農林業の担い手の確保(特にこれからは食べるもの、いい農作物を守っていくことが大切かと思うので、橋本市の農業は衰退させてはならない。)

## 17. ごみの減量・リサイクルの取組

- ゴみの収集がほかの地域に比べて高いし不便なので改善が必要。車の免許がないと住みにくい。バスなどの公共機関の充実
- 可燃ごみの収集が週1では若い人は生活しにくい。子供がいるとゴミが多く出るので配慮してほしい
- 有名な明石市のように、若い人が集まるような対策は必須。ご年配は増えていく一方だと思えます。ゴミの回収週一回はありえない。子供が多ければゴミも増える、橋本市はお金をかける所を間違っていると感じざるを得ない。住民税を納入している身としては、先を見据えて税金を使って欲しい、じゃないと人口は減るだけです。”
- ゴミ問題ですが、高齢になれば収集場所に運べない人たちを見えています。それと家族の多いところは週1だとゴミを冷凍している所もあると聞いています。このような問題なんとかしてほしい。
- 可燃ごみの回収が週1回しかなく、オムツや生ごみのおいが気になります。もしごみを捨て忘れてしまったらと思うと不安でストレスです。週二回の改修になるととてもありがたいです。

## 18. 生活環境汚染対策の推進(0件)

## 19. 住環境(耐震化促進、空家対策)

- 住環境の再整備、充実化 事業体の誘致
- 古民家やリフォームが必要な家が多いので、補助金を出して、新世帯に安くきれいになった家を購入出来るようにする。
- 障害者や介護施設への外国人従業員の積極的な受け入れを行い、空き住宅の低価での賃借や購入のあっせんも合わせて実施すればと考える。高野山、十津川方面への観光客の宿泊場所に空き住宅の利用が出来ないでしょうか。(コロナ前、南海高野線の橋本どまりの列車で夜遅く外国人観光客をよく見かけたので)

- ・市営住宅の整備と入居条件の緩和
- ・私は高齢のためアンケート等にうまく書けないで申し訳ないですが、日ごろ少し思っているのは、周囲に空き家が目につきます。私が思うのは一定期空き家が続けば国等で空き家を管理して貸し出しては個人の税収も上がりまたそのうち少し空き家主に貸家代金の一部支払い等すれば空き家対策になるかも？

## 20. 公園・緑地の維持管理

- ・駅前に商業施設を集め、郊外の自然がきれいな地域には公園やキャンプ施設、スポーツ施設を点在させる。自転車やウォーキング、電動キックボードなどの専用コース等で結び、駅、駐車場を拠点に小さなエリアを行き来しやすくする。道の駅を作り、県外からの集客、高野山への休憩所に立ち寄れる場所を目指す。
- ・子育て世代の家庭が周辺には多いので、公園や施設（レジャー）など、遊べる所をもう少し増やしてほしい。ファッションや飲食店、スーパーなどの充実

## 住み慣れた地域で安心して暮らせる持続可能な仕組みづくり

### 21. 健康づくり支援と医療体制

- ・私はこの市に来て、地元と比べて、とても橋本市の親切で優しい人柄に感激しました。保育園も小児科も職場も最高です！道路も広くて運転しやすいし、その他の環境も素敵で、ありがたいです。住みやすく楽しい町です。ただ一つ、不満があるとすれば、病児保育の利用が医師の診断がいるし、8度以上あると利用できない事です。病児を受け入れる人数も少ないです。子どもは熱が出ると8度以上出ることが多いので、ほとんど仕事を休まないといけなくなります。職場の人達に申し訳なくて、辛いです。病児保育の充実を希望します。
- ・昔から住んでいる人が多いので「こうなさい。ああしなさい。」というお年寄りの方がたくさんいらっしゃいます。理にはかなっていることもあれば間違えてることもあり「よそものは来るな」と考えている方がいますのでまずはその方々の考え方を考えるしかないかと思います。又おとなりの九度山や高野山に比べ何に対しても支援が少なく感じますし、市民病院はあるけど受け入れ拒否等。支援を充実させ病院をきちんと運用させる等しないと人口維持は難しいと思います。
- ・今取り組んでもらっている企業誘致は引き続き重要な取り組みだと思うが医療機関がかなり脆弱であるので人口増加は難しいと思われる。
- ・橋本市の魅力をもっともっと発信していき、移住者、訪問者数を増やすための取組が必要。特に人口を増やすにあたり、子育て世帯の移住促進が重要で、医療面（夜間、休日が特に弱い）、子育て支援を手厚く改善し、発信する必要がある。

### 22. 社会保障制度の適正な運用

- ・税金（住民税、健康保険代）が高すぎる。市運営の人員費を抑える施策（市職員、市会議員数）を真剣に考える。橋本市に下津町に新設された「道の駅」を参考にした施設を作り、大阪に近い立地を活かしのぎわいのある街づくりを！

### 23. 地域における支え合いの仕組み

- ・地域のご近所さん同士が楽しく助け合える町を作るのがいいと思います。昔でいう長屋感覚で、子育て、介護、助け合っている町作りが大切だと思います。

- ・助け合いが出来るまちづくりをしたい

#### 24. 高齢者にとっての暮らしやすさ

- ・高齢者の為の補助 車の運転が出来なくなれば買い物にも行けない場所に住まわられてる人は大変だと思う。それでも生きる為に生活しなければならないが実際は無理なので考えてもらいたい。
- ・①橋本市民限定のイベントをする。例えば、橋本市民限定のウルトラクイズ大会など。優勝者には橋本市で使えるクーポン券を渡すなど。②道の所々にベンチを置いて欲しいです。高齢化が進み、橋本市にも高齢者の方が多いらしいです。健康維持の為、歩いたり自転車に乗る方も見かけるのですが、途中でしんどくなった時に、植え込みの隙間で休んだり、歩道の真ん中で座り込んだりしてる人を見かける事があります。心配になり声をかけると、ちょっと休憩してるだけとの事だったのですが、地面に直に座ってる姿を見るととても心配になるので、出来れば座って休めるような場所があれば良いなと思いました。
- ・自然環境もよく、果実や野菜も豊富でいいところはたくさんあるのにスーパーが近くになくて、年配の人はどうしているんだろうかと心配になります。老後も安心して住める街づくりに期待しています。
- ・子供に必要な金銭が助成され働き世代が住みたいと思えるように都会化し老人が元気に好きなことをのんびりできる施設がありまたそこで働く人が増え他（多）世代で交流できれば人は集まり留まります。

#### 25. 障がい者にとっての暮らしやすさ

- ・身近で、乳幼児医療の所得制限があるため、転居した人が何人かいてるのを聞いたことがある。同じ県内でも、紀の川市は24歳大学生であれば24歳まで乳幼児医療をうけられる。自治体にバラツキがあるため、条件の良いところに高所得者が転居し結果、税収が減る。また、障害者手帳の受けられるサービスや補助についても自治体によって、手厚い所がある。その為、子供の住む近くの地域の方が充実していれば転居される方もあり、全体的に住みやすい町でなければ人口はさらに減少する。他府県で、人口が増加している取り組みがあればどんどん真似したり、魅力的で住みやすい町づくりが近々で必要だと思う。このままだと、ますます人口減少が加速すると思う。”
- ・高齢者、障害者に優しい環境整備（買い物、病院） 耕作放棄地、空き家の活用 若者の呼び込み、街づくり 水道料金の値下げ 給食費の無償化

#### 一人ひとりの個性が尊重され思いやりのあるまちづくり

#### 26. 人権尊重と平和学習の推進

- ・どんな人も差別（同和地区だけでなく男女すべて）を受けることなく住める橋本市が良いと思います。特に若い人が住みやすい市にしていくと市の未来が明るくなると思います。医療、教育（+交通）など充実していくと若い人が増え、結果として人が増えると思います。空き家（とてもいい場所にあっても売りに出しても賃貸にも出ていないので…行けなかったです）が多すぎます。もっと活用する方法（条例を含め）を考えてください。

#### 27. 男女共同参画の推進（0件）

#### 妊娠・出産、子育てから教育まで切れ目のない支援とそれを支える地域づくり

#### 28. 妊娠・出産・育児環境

- ・若い世代（子育て世代）にもっと魅力的な町にする必要があるので再開発も含めて生活利便性や快



適性、子育て制度に力をいれてアピールすることが大切だと思う（全国的にみても子育て世代に人気のある街は活力があり、人口維持、増加にある）次にそれを達成するための予算をつける必要があるので市の人口に見合った人件費の削減や強いリーダーシップのとれる人材を育成する。

- 子育てしやすい環境を整えて、子育て世帯を呼び込む。地元で働きたいと思える労働環境にする。
- 老人に優しいが、子育て世帯に優しくない、周りの地区と比べて補助も少ない。橋本市でいい所は、南海線があるから大阪に行きやすいというだけ。住みたいと思う魅力がない。もっとこれからの世代を呼び込む政策をし、若い世代が喜ぶ町作りを行う。老人に優しいのも重要だが、どんどん人口が減り廃れていってしまう。南海高野線以外になにかあるのか？と言われても何も無い。若い世代を呼び込み企業を誘致し、そのお金で住みやすく魅力ある町にして欲しい。橋本市に住んで良かった！と言わせて欲しいはっきり申し上げて橋本市の行政は何をしてきているのか全く伝わらないし現実何も成長していない。大阪と比べて学童高くないですか？働きづらいです。幼稚園の給食費が無料になったとのことですが、お弁当の幼稚園に対する家庭への補助は？お弁当にもお金はかかってます。もっともっとちゃんと橋本市を運営してください。南海線が無くなっても人を呼び込める町に！！
- 子育て支援。大阪へのアクセスが良いのにほかの自治体のほうが子育て支援が手厚い。長く住む住民増加のためには子育て支援が一番大切

### 29. 子ども家庭支援

- 魅力だけでは難しいと思う！「お金」で対応する。橋本から出るメリットが無いように感じる橋本に期待を感じる 若い人現役世代向け 高校無償化 病院代、給食代とか。年配は山もり居てるので。
- もっと子育てに関して補助金がある、または手当がつくなどがあれば良いと思う
- 経済的な育児の支援
- 学校給食の無料化 幼児教育の無料化（保育園、幼稚園）
- もっと交通の便を良くしたらいいと思います 学費の援助が有効

### 30. 地域・家庭・学校・行政の連携

- 子育ての若い親が少しでも楽になるように給食費や予防接種の無料化。子供食堂は良いことだと思います。

### 31. 安全・安心な学校教育環境

- 若い世帯が来てくれるような施策。モンテッソーリ教育を取り入れた幼児教育など、特徴のある施策。
- 私も14年前に一戸建てを購入し、他県から引っ越してきました。親も主人も全く橋本とは関係ない人です。暮らしやすく、とても良いところだとは思いますが、子供を育てるにあたり、静かな環境だとは思っています。ですが、子供が大きくなり、外の世界を知っていくと距離がある不便性を感じて来るかなと思っています。今は中学校や高校を選択することへの不便を感じています。圧倒的に学校数が少ない。少ない中で私立中学校を選んだが昔な考えで現代的ではない。親は学校に嫌気をさしている。学校の遅れている教育スタイルに子供に申し訳なく感じる。もう少し選べる学校数があればよかったのにと感じる。これが橋本市へ引っ越してきた、ただ一つの後悔です。
- 地方市町村や、国とかに関係なく、一番投資しなければいけないのは、人口を増やす事、最悪でも

維持する事。本来は国がしなければいけない事だが、近隣の市町村の方が、橋本市で子供を産んで育てたいと思ってもらう事が大切で、明石市が行った政策なども参考にしながら、橋本市独自の政策も考えアピールすることが大事。ただ、はじめにも言いましたが、本来は国がする事、大阪府の収入制限無しの高校無償化など、橋本市からも大阪の高校へ通っている人や、これから進学したい人もいます。やはり、教育も平等であるべきで、子育てなども絶対的に平等であるべきです。それらを議会などでも、真剣にスピード感を持って進める事が重要。

- 幼少期から地元へ愛着を持てるような人材育成。橋本市の地場産業が魅力ある職業だと発信し、就職を促す。
- 子供たちが近くで学校に行けるよう統合はしないで下さい。買い物もサービスで持ってきてくれない地域もあります。道の整備もして欲しい所がたくさんあります
- 子どもを増やさないと意味がない。長い目で人口が維持、増加できる政策が必要。保育園（0～2歳）料金や保育費無料や英語教育など特色ある学校があれば入居したいと思う。

### 生涯にわたる生きがいづくりと心の豊かさを高めるまちづくり

#### 32. 生涯学習の推進

- 小中高校生向けに勉強する場をもっと提供すべきである。市の図書館は休日は満席で、開館前から高校生が並び全員が利用できない。例えば土日の午前中は公民館を勉強する場として一部開放し、学びの場を作るといいと思う。色んな学年を一つの場所に入れることで、教え合いが生まれ、社会性を身に着ける一つの方法だと思う。夏休みには高校生ボランティアが小中学生の宿題をサポートする。皆の基礎学力が向上するはずである。
- 若い人たちが多く住んでくれるように子育てに関する支援充実。図書館の本が古いものが多くキズよごれ、健康に悪い?! 内部も狭くて人とすれ違いにくいです。
- マンションや住宅地に専用駐車場を設ける（友人や知人が訪問しやすいようにする）
- 図書館の充実。橋本市図書館5階のトイレがすべて和式なので、年寄りには利用しにくい。

#### 33. スポーツ施設、活動の振興

- 富裕層の多いロードバイク所有者を受け入れるためサイクリングロードの充実や受け入れ施設。
- スポーツ施設にもっと力を入れてほしい。新たに増設はもちろんですが、現在運営している施設のメンテナンスを性化してください。せっかく環境の良い場所にあるのに、メンテナンスが行き届いていない箇所が多々見受けられます。例えば具体的に橋本運動公園のテニスコート、A～Fコートは雨が降ってもすぐ利用可能。逆のG～Lは雨が降ると水溜りが多数発生し使用不可。
- 近隣の市町村（大阪府も奈良も踏まえて）との積極交流 例えば市民スポーツ、自転車（ロードレース）etc 大きな大会を毎年行う（吉野紀の川でリバースポーツ） 高野山をもっと使う ※生活は都市部に負けるから趣味の幅を広げる町にする 住宅の空き家を新移住者に提供できる橋わたしする
- 紀の川の景観を考えて欲しい! 河川敷グラウンド等に堤防に階段の観覧席または、木陰を殖やすなど、検討をお願いします!

#### 34. 歴史文化遺産の保全と活用

- 市の担当者（責任者）が変わるごとにどこの市町村でもやっようなアピール、イベント、施策をしそのまま立ち消えも多い。行政のうわべでの自己満足に見える。橋本市の魅力をもっと効果的にアピールする施策を実施。特に地理、祭り、文化、歴史的に素材は県内でもかなり優位性がある

る。1つ1つが全く生かされていない。アウトレット等の企業誘致。

- 若者の定住促進、地域ぐるみのイベント、若者が済みやすい環境を整える 民俗芸能、観光産業等 橋本市の特色を活かした観光振興 林業、農業、新しい産業の誘致 橋本市の交流や情報発信を市橋本市の魅力を外に発信し、自治体や市民団体が主催するイベントやネットワークの構築
- 橋本市をほめたたえる。歴史で。子度が夢を持てることが親や子に話出来ることがこれとってないもない。(しらないかもしれないが) 他所にくらべれば自慢が何も無い
- 橋本市には世界遺産があるので、それをもっとほかの所にアピールしていったら、良いと思います。ほかにも、公園などの人が遊べる場所を作ることにより、人が増える可能性があります。そして、空き家を利用したせつや空き家バンクの登録なども進めていくとより良いと思います。橋本駅前を開発して高野山へ行く観光客に寄ってもらう努力をすると活性化すると思います。

### 35. 文化芸術活動、国際交流の推進

- 外国人も含め転入者を増やす。行政が主導して外国人には言語、文化理解の方法を地域の人々とともに作り出し共存し、その成功例を他へ発信していく
- 自由に移動できるコミバスの充実等、交通手段を整える。文化施設の充実(演劇鑑賞は今、粉河ふるさとセンターへ行っている)

### 36. 青少年健全育成(0件)

### 37. 地域コミュニティ・協働のまちづくり推進

- 中学生、小学生の子どもがいます。橋本市の子ども手当や医療費助成制度は本当にありがたいです。住んでいて思うことは、子供会の廃止をしていただきたいです。強制参加の子供会は時代に合っていない。親の負担が増え、お母さんたちが疲れては子どものためになりません。物価高騰の中、会費も払うのが嫌です。こんなことに使うなら別のことに使いたいです。橋本市の中で補助金を貰っている子供会は四つくらいですよ？子供会への補助金を廃止してください。そのお金は別の形で子どもたちのためにつかってあげて欲しいです。
- 子育て世帯、高齢者、障害者などのタイプ別にコミュニティをつくることを行政が支援し、情報交換や助け合いの場を充実させること。
- 若者が行政に参加しやすい仕組みを作り、若者のコミュニティをつくる

その他

### 38. 市長・市議・市役所・職員・税金等

- 規模に応じたサービスに減少。市議会議員を1万人に1人の割合に。(和歌山市レベル)6人で十分。其の分財源を市政に活用してください。
- 企業誘致し労働確保 ・ 空き家の有効活用 ・ 子育て支援の充実 ・ 市議会議員の給料削減、定数削減。
- 明石市長の泉氏のように、子育て支援に対する予算を大きくする。税を増やすのではなく、予算の中身の見直し、また大阪府大阪市で成功しているように、市長、議員、職員全員が身を切る改革で無駄を省く事。特に首長、議員の退職金の見直しの実施。子育て世代が橋本市に住みたいと思える魅力のあるまちづくりが大切。同じ関西で成功している自治体を参考に取組む事が大切。
- 住民本位の行政を行って欲しい。水道代は近隣に比べて高く、可燃ゴミの収集は週一回しかない。職員の給与は和歌山県下トップクラスなのはどうかと思う。収入を増やすのではなく、まず支出を

減らしてください。

- 行政のリーダーシップ 子育て政策、介護政策の充実

### 39. まちづくり全般・アンケート等

- 身内の集まりのような姿勢はストップしていただきぜひ新しい風を吹かせてください。まったく響いてこない。このアンケートの皆さんの意見も必ず公開していただきたいと思います。
- 橋本市の玄関口である橋本駅前地区の衰退 インバウンドで人の交流が多くなった昨今 橋本に来ていただいても住みたくない 滞在したくない まずはここからだと思います
- どういった街にしていくのか、ビジョンが大切。
- 人口減少は橋本市に限らず我が国全体の問題。・高齢化比率も高く人口維持は困難 人口減少を受け止め、小さな行政、コンパクトシティー化の推進を図る
- Q13 回答用紙の満足度が満足・やや満足になるようにするしかないのでは。
- 市役所、駅、ショッピングセンターを集約してコンパクトな街作りをしてほしい。
- アンケートに回答するにあたって自分は橋本市の魅力的な所もよくないところもありわからないなと思った。アンケートをしていたりQRコードが載っていてよかった。人口維持のために、今いる人たちが転出するよりも橋本市が良いと思えたり、今生きている人たちが死にたくないようにすることが重要だと考えているが、具体的な取り組みはわからない。何事も選択肢が増える方が理想ではある。今していただいている取組や計画を続けてもらえればいいかなと思う、人口が減少しても大丈夫な方向の取組があればと思う。

### 40. その他

- 「想定外」をなくし、しっかり企画立案をして実行に移してください！
- むずかしい問題なのでわかりません。日本全体が人口が減っているので仕方ないかなと
- 橋本市は交通の便に恵まれているが（JR・南海・京奈和道）道の駅もなく、また世界遺産もあるが残念だが当市は通過地域に過ぎない。将来紀伊半島の地の入り口として近隣の他府県の町とも協働して発展するよう若手スタッフに努力してもらいたい。
- 様々な困りごとが生じるものです。行政手続きや税なども複雑化していきます。把握して、専門家を各人個別に随時サポートする体制が必要です。事務所にこもらず、各人と様々に関わってはいかがでしょうか？と思います。
- 外から入ってきてもらうための魅力が乏しいと感じています。仕事にしても、教育にしても、他の地域に比べて光るものは感じられていないのが正直なところです。今住んでいるのは、昔からの愛着という一点が大きく、実際別の地域でも住んだ経験から言うと、住みやすさという点では他の地域の方が住みやすかったのも事実です。
- 人づくりが重要だと思います。大切の育てられた土地を忘れることなく楽しく明るく生活できるよう、相手の立場に立って考え行動できる人づくりを期待致します。
- 住み続けたいは別として、物価高騰で他の市や町で商品券等の配布、ゴミ袋の配布などがありますが、なぜ橋本市はないのでしょうか。生活を助けてくれているイメージがないので、住み続けたいとは思いません。
- サマーボールは大変良い◎ 市のイベントを多くしてほしい、(老若男女)が参加できるイベントを！